アディダスで正しいテクニックを身につけたい。

3155 Napoli
ナポリ
●ベロアレザー甲皮●赤×白
●シェルソール
¥7,500（標準小売価格）

3150 Athen
アテネ
●ベロアレザー甲皮●青×白
●シェルソール
¥7,500（標準小売価格）

デンマーク・ワールドチャンピオンシップでも、優勝ドイツチームを始め、世界16ヶ国の代表選手の78%もがアディダスハンドボールシューズでした。そのヒミツは、誰にも負けない経験と実績、そして技術開発力を背景に、世界のトップ選手のアドバイスを商品開発にダイレクトに生かしているからに他なりません。ストップ、ターン、グリップに理想的なアディダス独自のソール設計。足への文句のないサポート感。加えて、足を良く守るヒールカウンター、パッド…。大切なゲームであなたに必要なのはこのアディダス機能です。

adidas®
The science of sport.

The all-sports people



●お求めはadidas特約店で

発売元 KSG 兼松スポーツ用品株式会社 〒532 大阪市淀川区木川東2—5—3 ☎06·305—1431
〒130 東京都墨田区緑2—12—3 ☎03·634—1411

11月17日からオリンピック予選

男女とも日、韓、台の「3国リーグ」

未定部分の多かったモスクワ・オリンピックアジア予選は、11月17日から24日まで、台湾で開かれることが正式決定した。

ＩＨＦ(国際ハンドボール連盟)から、このほど日本協会に届いた広報第128号によるもので、参加国は、男子が日本、韓国、台湾の3カ国。今春、いちどエントリーしたカタールは、本誌でも既に報じられたとおり、同国がＩＯＣ（国際オリンピック委）のメンバーに加っていないため、出場資格がなく、また、クウエートの棄権も確定的になった。

女子は、男子同よう日本、韓国、台湾の3カ国で、日時、場所などは、男子と同時に進められる。

競技法式は、男女とも、2回総当りで、第1次リーグは高雄市、第2次リーグは台北市が会場になると伝えられる。代表数は男女とも1。女子は、アジア予選のあとに「3大陸代表決定戦」で勝ち進まねば、モスクワへ行けない。

アジア予選のレフェリーは、スウェーデン、西ドイツのペア各一組の予定。

◇

日本協会筋が予想していたように、男子のクウェートが、棄権してしまった。

理由は、いろいろ考えられるがやはり、ＡＨＦ（アジア・ハンドボール連盟）の会長国として、台湾への乗りこみは難しかった、とみるのが〝順当〟だろう。

しかし、クウエートは、3回連続の棄権である。

1回目は、3年前のモントリオール・オリンピック予選、2回目は2年前の第9回世界男子選手権予選。

いずれも、開催地が台湾であったことが最大の理由だ。

こうした状態は、けして好ましいものではなく、2年後に予定される第10回世界男子選手権アジア予選の時には、ぜひとも、クウェートを加えての競技会になることを祈りたい。

米大陸予選にキューバ参加

ＩＨＦは、このほど、モスクワ・オリンピックアメリカ大陸予選の日程と参加国を発表した。

それによると、男子の会期は、来春1月6日から24日まで、メキシコ・シティで行われ、参加国はアメリカ、カナダ、アルゼンチン、ブラジル、キューバ、メキシコの6カ国である。

代表数は1カ国で、アメリカがベルリン大会以来の4回連続出場を果たすかどうかが興味だが、キューバの初エントリーも、大いに注目される。

近年、キューバ・スポーツ界の国際的躍進は目ざましいものがあり、ハンドボールも、かなり以前から活動が伝えられていた。

主としてソ連、東ドイツの指導を受け、これらの国で開かれたジュニア・トーナメントに代表チームが送られたこともある。

今回、そのベールを脱いで、アメリカ大陸予選にエントリーしたことは、「かなりの実力」を備えた自信によるものと、日本協会強化部筋はみている。

なお、女子は、カナダとアメリカ2カ国のエントリーに留ったためホーム・アンド・アウエイによる2試合を行ない、勝者が「3大陸代表決定戦」へ進出する。

男子・チュニジア　女子・コンゴ　アフリカ大陸代表

モスクワ・オリンピックアフリカ大陸予選は、8月はじめ、コンゴのブラザビル市で行われ、男子はチュニジアがエジプトを21―15（前半11―8）で破り、ミュンヘン、モントリオールについで、連続3度目のオリンピック出場権を手にした。

また、女子は、コンゴがカメルーンを23―20（前半10―13）で破り、「3大陸代表決定戦」への進出を決めた。

ＩＨＦは、これまでに「3大陸代表決定戦」の開催地を、アフリカ大陸代表国と申し合わせており、この結果、自動的にコンゴと決定、会期は、来春3月15日から20日になる予定。

なお、今回のアフリカ大陸予選に参加した国は次のとおりで、いずれも、アフリカ地域のゾーン予選の勝者といわれる。

▽男子　チュニジア、アイボリーコースト、コンゴ、エジプト、セネガル、トーゴ、アルヂェリア、カメルーン、マダガスカル

▽女子　チュニジア、カメルーン、マダガスカル、コンゴ、ベニン、ナイジェリア、アルジェリア、アイボリーコースト、セネガル。

【境井秀三・日本協会常務理事】

『ハンドボール』

54年9月号（第178号）目次

【表紙写真】第30回全日本高校選手権男子優勝中京（上）と女子優勝の栃木女セブン
スポーツイベント社提供

全日本男女（対オーストリア戦）陣容決まる

オリンピック・アジア予選を前にして、ナショナルチームの強化総仕上げ、オーストリア招待シリーズが、いよいよ開幕する。

来日するのは、本誌前号詳報のとおり、男子はナショナルチーム（世界選手権Bグループ9位）、女子は同国ナンバー・ワン「ヒポバンク・セントポールテンHC」。

日本協会は、8月23日全日程と全日本男子、26日に全日本女子のメンバーを正式発表した。男子は2日東京、8日大阪、女子は2日東京で対戦する。2日はNHK杯大会。

5点差以上の連勝目指す

男女とも発表された陣容は、ほぼアジア予選に出場する顔ぶれと考えてよさそうだ。

男子は、29人の全日本（本誌176号）から、ジュニア選手権候補を除いての編成で、現時点では、これ以上のスタッフは組めまい。

それだけに「オーストリア戦連勝、それも5～7点差以上の勝利」というのが竹野監督の目標。

これまで、ヨーロッパチームとの交流というと、相手の技術を習得することが第一、日本協会もファンに「世界の技術を見せること」に最大の狙いをおいていたが、今回は明らかに「好勝負できる相手」を選んでいる。

オーストリアも、今春のホームゲームで2勝1敗と勝ちこした試合をフロックといわれるようでは今後の国内での頂点強化が進めにくくなる。これまた〝必勝〟の気構えで来日しよう。

なお、日本協会は、23日のメンバー発表では、FPに中井（大同）を加えていたが、その後、コーチングスタッフから、同選手の不参加が明らかにされた。

中井は、本誌176号既報のとおり6月の全国理事会で佐藤、柴田（ともに本田技研鈴鹿）、花輪（大同）らとともに、全日本へのカムバックを要請されているものだが、今回、顔を見せないことは、日本協会―所属チーム間の説得工作が進展していないとみてよさそうだ。

このほか、GK井藤が、東日本学生選手権とぶつかる場合は、岡部大（大崎電気）が起用されることになっている。

アジア予選の代表固めへ

一方、女子は、本誌〆切り（8月27日）直前まで、メンバーの発表がなく、気をもませた。

これは、コーチングスタッフが22名の全日本～本誌176号～の中から、今シリーズのためのビックアップに、慎重を期したがためで、別掲の14名も確定したメンバーではない。

しかし、現勢力から考えて、この顔ぶれに、あと立石勢を加えたあたりが、11月初めに発表されるアジア予選代表だろう。

相手のヒポバンクは、来日直前の西ドイツ・ウーラ国際トーナメントで優勝したと伝えられ（本誌31頁）、全日本戦には、目の色かえて勝負に出てくると思われる。

2月の東ドイツ戦以来、ひたむきな努力を重ねてきた全日本女子の成長ぶりをうかがうには、見逃せぬ一戦といえる。8日名古屋での全日本女子ジュニア戦のメンバーは9月5日頃明らかにされる。

なお、モントリオール・オリンピック代表選手で、現メンバーの主軸の一人、紀野奈々美（立石）は、ヒザの故障が完全に治りきれず、7月末、辞退届を提出全日本から姿を消すことが決定的になった。

ア選手権、予選同一選手か

全日本男子

日本協会は、今秋11月、中国で開かれる第2回アジア選手権、台湾で開かれるモスクワ・オリンピックアジア予選に出場する全日本男子のチーム編成について検討を進めているが、今春来、有力とみられていた〝二つの全日本説〟がカゲを薄め、同一メンバーで、両大会に臨む方向へ向かいはじめた。

両大会の間隔が一週間以上あること、両国への入国が可能とみられることなどが理由。

対オーストリア・全日本男子

監督　竹野奉昭
コーチ　東　嘉伸

・GK
- 井藤　英忠（日体大）⑤
- 大畑　孝広（本田技研鈴鹿）①
- 福井　秀人（湧永薬品）⑲

・FP
- 津川　昭（湧永薬品）㉕
- 穂積　豊彦（湧永薬品）㊳
- 山本　伸三（湧永薬品）⑥
- 志賀　良弘（湧永薬品）⑭
- 池ノ上孝司（湧永薬品）⑯
- 蒲生　晴明（大同特殊鋼）㊷
- 中本　満明（大同特殊鋼）㉖
- 柳川　実（大同特殊鋼）㊵
- 大原　真造（大同特殊鋼）①
- 関　健三（三陽商会）⑥
- 斉藤　幸司（大崎電気）㉚
- 斉藤将一郎（湯沢ク）⑲
- 松井　孝嗣（日体大）①
- 辻本　孝仁（大阪イーグルス）初

・○内数字は公式国際試合出場数

対ヒポバンク・全日本女子（予定）

監督　池田鉄哉
コーチ　白神邦雄
コーチ　伊藤宏幸

・GK
- 山本　福代（ブラザー工業）
- 矢部登茂子（ジャスコ）

・FP
- 加藤美起子（日本ビクター）
- 穂積美保子（日本ビクター）
- 小島　和子（日本ビクター）
- 染谷　保子（日本ビクター）
- 伊藤　珠美（日本ビクター）
- 松下　仁美（ジャスコ）
- 河田　栄子（ジャスコ）
- 金田　孝子（ジャスコ）
- 吉田　良子（日立栃木）
- 島田さゆり（日立栃木）
- 中川しげみ（ブラザー工業）
- 宮平　恵子（ブラザー工業）

オーストリアシリーズ日程

・9月1日（土）
オーストリア―三陽商会・三景連合（18：30　駒沢体育館）
（女）ヒポ・バンク―大崎電気（19：40　〃　）

・9月2日（日）～第22回NHK杯国際大会～
（女）ヒポ・バンク―全日本（15：05　東京体育館）
オーストリア―全日本（16：10　〃　）
～NHK教育テレビ　15：00～17：30

・9月4日（火）
（女）ヒポ・バンク―日立栃木（18：00　日立栃木体育館）
オーストリア―日新製鋼（18：30　呉市立体育館）

・9月6日（木）
オーストリア―湧永薬品（18：30　広島県体育館）

・9月7日（金）
（女）ヒポ・バンク―大和銀行（18：00　大阪市中央体育館）
オーストリア―全日本（19：20　〃　）

・9月8日（土）
（女）ヒポ・バンク―全日本ジュニア（16：50愛知県体育館）
オーストリア―大同特殊鋼（18：00　〃　）

中国，7月13日付でIHFへ加盟申請

IHF（国際ハンドボール連盟）のアジア選出理事・渡辺和美氏（東京協会長）は8月15日からドレスデン（東ドイツ）で開かれたIHF理事会に出席、このほど帰国したが、同理事会で「中国がIHFに7月13日付（注・一部に7月7日説もある）で、加盟申請書を提出した」ことが明らかにされた、と語った。

申請書の取扱いは、来年8月モスクワで開かれるIHF総会で協議されるが、渡辺理事は「正式加盟国になるか、2年間の仮加盟国になるかは判らない」といっている。

また、この件について、緊急理事会が開かれる予定もないそうだが、10月名古屋でのIOC（国際オリンピック委）理事会での結果では、新局面も生じよう。

◇

中国のIHF加盟については、7月来日した西ドイツの首脳陣も「時間の問題」といっていたが、すでに、加盟申請書が提出されているとは、日本協会筋も知らなかった。中国は、これまでIHFに一度も加盟しておらず、新加盟国となるわけだが、再三のヨーロッパとの交流で、その実力は、かなり高い。

男子は大同×湧永激突

～9月15日から日本リーグ後期～

予断許さぬ女子の展開

第4回日本リーグが、9月15日から後期戦に突入する。

男子は、2回総当りのうち、1次戦を終え、女子は1回総当りのうち、各チーム3～4試合を終えた後期戦は、いずれも正念場。

岩手（23日）、大分（同）、沖縄（30日）での初開催を含む5週11日間の熱戦を展望してみよう。なお、今年から始った2部は男子が残り7試合、女子が3チームリーグの第2回戦をそれぞれ行なう。

× × ×

男子は、前期最終日、4勝同士で顔合せした大同特殊鋼（愛知）、湧永薬品（広島）の二強が、後期もよほどのことがないかぎり、好調に突っ走り、10月28日名古屋で対決することになるだろう。

大同は4人、湧永は7人のナショナルプレイヤーをかかえて、そのチーム力は、国際レベルに達している。

最近の対戦では、大同の試合運びの巧さが、僅かに湧永を上廻っているが、その実力は、正に紙一重だ。

湧永としては、〝1差〟のハンデがあり、苦しい戦況だが、ムザムザと引き退るわけにはいかない10月中旬の宮崎国体が、絶好のトライアルになりそうで、この大会の結果いかんが、かなりの作用をしそうだ。

3位争いも激烈。前期を終わってイーグルス（大阪）、本田技（三重）が同率で並走しているが、イーグルスの健闘は、賞してあまりある。

しかし、イーグルスが、後期2～3勝をあげるか、といえば、かなり難しい注文で、順当なら本田技が、単独3位で落ち着こう。

イーグルスは、カギを握る日新戦（10月6日）、本田技戦（27日）がともにホームコートという利がある。是非とも、これを活かしたいところだ。

三陽商会（東京）、日新製鋼（広島）は、前期やや期待はずれで終っただけに、後期の巻き返しがみもの。この両チームの試合ぶり次第では、3位以下のランクは、週ごとに変わろう。

上昇機運の立石電機

女子は、予想どおりビクター（茨城）、ジャスコ（三重）の争いになっているが、両者対戦の前にブラザー戦を控えているのが面白い

ブラザー（愛知）は、大和に手痛い引き分けがあるだけに、後期は4連勝が絶対条件、第1週のビクター戦を取って波に乗りたいと狙う。

立石電機（熊本）の上昇機運も見逃せない。大崎戦の黒星は、誤算だったろうがジャスコ、ビクター、ブラザーとつづく九州シリーズの星では優勝圏内に踏みとどまれる。この3連戦は、9月内の焦点といえる。

日立栃木（栃木）、大崎電気（埼玉）の5位争いは、日立がやや有利か。

大和銀行（大阪）、北国銀行（石川）は、なんとか入れ替え戦を逃れたいと、今後のBグループ相手の試合に闘志を燃やしている。6位以内も、けして不可能なことはない。

2部の焦点ムネカタ×重機

新発足の2部は、9月22、23、24日の3日間名古屋で後半戦が行われる。

男子はすでに大崎電気（埼玉）と三景（東京）が4勝をマーク、入れ替え戦出場権を握っており、後期の興味は、大崎×三景の〝優勝争い〟と、3位以下のランキング。

前期の戦いぶりからすると自衛隊勝田（茨城）の元気が目につくがセントラル自動車（神奈川）、トヨタ車体（愛知）、日鉄建材（大阪）は、むしろ、これからが勝負といった感じで、激戦になりそう。

女子のムネカタ（福島）×東京重機（東京）は、前期、ムネカタが先勝（14—11）しているが、後期は、さらに、もつれよう。

なお、1部の個人得点レースは男子は、蒲生（大同）が48点と一人40点台をマーク、佐藤（本田32点）以下に差をつけて優勢。女子は、PT12にモノをいわせた小島（日ビ）が18点でトップ、以下、松下（ジャ）15、中川（ブ工）13、大輪（日立）12と波乱ぶくみ、加藤（日ビ）も10でチャンスは残っている。

<第4回日本リーグ前期1部成績>

【男子】	①大同特殊鋼	5勝0敗	（総得点144,	総失点 75）
	②湧永薬品	4勝1敗	（122	78）
	③大阪イーグルス	2勝3敗	（94	125）
	④本田技研鈴鹿	2勝3敗	（102	107）
	⑤三陽商会	1勝4敗	（87	142）
	⑥日新製鋼	1勝4敗	（95	117）
【女子】	①日本ビクター	3勝0敗	（総得点 53,	総失点 35）
	②ジャスコ	3勝0敗	（44	26）
	③ブラザー工業	2勝1分	（41	24）
	④立石電機	2勝1敗	（33	27）
	⑤日立栃木	1勝2敗	（51	52）
	⑥大崎電気	1勝2敗	（34	46）
	⑦大和銀行	1分3敗	（33	59）
	⑧北国銀行	0勝4敗	（28	48）

名門中京（愛知）18年ぶり4回目
古豪栃木女、15年ぶり2回目
全日本高校選手権、波乱の展開

30周年を迎えた全日本高校選手権大会の勝者は、記念大会にふさわしく、男女とも高校界の代表的名門が優勝を飾るところとなった。――今年の大会は、8月1日開会式のあと、2日から7日までの6日間、兵庫県神戸市の神戸中央体育館を主会場に、全国の代表、男女各48校の精鋭を集め、史上初めて全試合、インドアで行なわれた。

男子は、春のセンバツ勝者・中大付属（東京）が、2回戦で、前年優勝の久留米工大付（福岡）に敗れ、その久留米も、古豪・中京（愛知）に逆転負けという波乱に富んだ展開の末、勢いにのった中京が実に18年ぶり、4度目の優勝を飾った。

一方、女子も、センバツのクイーン・小松市女（石川）が、準々決勝で、栃木女（栃木）に惜敗、自信をつけた栃木女が、一気に勝者の座へかけあがった。これまた15年ぶり、2度目の優勝という、劇的な＜名門復活＞であった。

来年度の大会は、8月2日から愛媛県宇和島市の予定。

男子

▽1回戦

中大付（東京）15（9—8　6—6）14 函館有斗（北海道）

勝負のかかった後半5点差がついて逃げきると思われた中大付に有斗走力を使い4点連続得点するなど健闘1点差で惜敗した。

高志（福井）30（9—12　11—6）18 青森商（青森）

実力伯仲、シュート力の差で高志有利に立ち残り15分で逆転、あせりの青森商を押し切った。

横浜商工（神奈川）15（9—6　6—8）14 乙訓（京都）

横浜商工のポスト利用のプレーに荒いディフェンスでPTを許し自滅した乙訓、後半ロングが決まり一進一退の好ゲームになったが前半のPTが最後まで響いた。

佐世保北（長崎）15（7—7　8—3）10 盛岡商（岩手）

前半互角の7—7、後半連続5点たて続けに奪った佐世保一気に押し切った。

池田（徳島）18（8—11　10—5）16 境港工（鳥取）

9—1と一方的に差をつけた境港は攻守が甘くなりペースが乱れ池田に後半13分に逆転される。

石橋（栃木）21（9—7　12—8）15 柏崎（新潟）

前半一進一退の好ゲーム、後半石橋は速攻で得点試合を楽にした。

幡多農（高知）15（7—4　8—10）14 添上（奈良）

幡多ペースで折り返し、終了5分前で同点に追いついた添上、ミスが目立ち、幡多に逃げこまれた。

古川（宮城）16（9—5　7—9）14 鹿児島工（鹿児島）

鹿工は9—5の差を必死に追い終了1分前1点差になったが古川に逃げ切られた。

北佐久農（長野）27（13—1　14—5）6 松江南（島根）

松江は攻めあぐね無理なシュートを打ち、北佐久農の一方的ゲーム展開で終始した。

大曲農（秋田）19（11—5　8—11）16 大分電波（大分）

互いによく走った。大分の必死の巻き返しも、大曲農前半の点差で助けられた一戦であった。

佐賀農（佐賀）18（8—7　10—10）17 土浦一（茨城）

両チームGKの好守で一進一退佐賀は多彩な速攻で一点差守る。

桃山学院（大阪）25（12—2　13—5）7 高松工芸（香川）

コンビプレーに秀れた桃山は、巧みに高松を自分のペースに巻き込み快勝。

小松工（石川）21（11—7　10—7）14 武庫工（兵庫）

小松早いテンポで着実に加点、武庫工チャンスもGKの巧守で、ペースをつかめず苦戦し敗れた。

首里（沖縄）20（12—9　8—6）15 倉敷商（岡山）

立ちあがり互角だったが、首里の早い攻めが優位となった。点差の割にテンポのある好ゲーム。

小林工（宮崎）18（8—6　10—7）13 御坊商工（和歌山）

先取点を許した御坊はプレーが萎縮し精彩を欠いたがよく健闘、小林は長身者の巧技で着々加点。

前橋商（群馬）21（10—7　11—7）14 新庄工（山形）

スピードある展開で前橋得点を重ねれば、新庄も力あふれるプレーで対抗したがGK好守でチャンスをつかめず、前橋ペースとなった。

久留米工大付、中大付を圧倒

▽2回戦

久留米工大付（福岡）27（16—8　11—10）18 中大付

期待された中大付だが、せったのは13分まで、退場を機に5点連取され16—8。久留米ペースで圧勝、春の選抜の雪辱を果した。

八幡工（滋賀）20（11—2　9—12）14 高志

八幡よく守り走り11—2とリード、高志追い上げ及ばず敗れた。

修道（広島）16（7—5　9—6）11 横浜商工

修道の高いディフェンスに苦戦した横浜、逆速攻で追い上げたが守りに甘さがあり修道ペースで終了。

中京（愛知）18（10—6　8—4）10 佐世保北

多彩な攻めの中京ペースでいきなり8—1、主導権を握る。佐世保も攻め口変え粘るが及ばず終る

熊本マリスト（熊本）26（14—9　12—14）23 池田

同型のチーム、池田のミスを速攻で加点14—9マリストリードで折り返す。猛追池田も前半の失点がひびき息切れで終る。

石橋 16（10—4　6—8）12 明石（兵庫）

明石に固さがのぞき、ミスが目立ち、常時石橋ペンスで後半へ、追い上げも明石ミスで自滅した。

川口北（埼玉）19（9—9　6—6　3—0　1—0）15 幡多農

川口北が終始リードし楽勝かに思われたが、後半GKの好守を足場に幡多農追い上げ延長、延長はセットプレーに一日の長のある川

口北ペースで終る。

四日市工（三重）20（10−6、10−7）13 古川

立ちあがり10分互角だったが、四日市工しだいに好守から試合を支配、追い上げる古川を振切った

氷見（富山）23（9−6、14−9）15 北佐久農

北佐久は動きが固く無理なシュートを氷見の速攻へと許し苦戦。後半の後上げも氷見寄せつかせず

大曲農 21（11−8、10−7）15 日川（山梨）

日川先行をすぐ逆転した大曲は脚力とフェントでリードし大勝。

佐賀農 18（6−6、7−7、3−3、2−0）16 静岡農（静岡）

残り二分のPTで結着と思った静岡。残り30秒前カットインからのシュートで追いついた佐賀農は延長後半で速攻を取り逃げきった

桃山学院 17（10−9、7−7）16 新居浜工（愛媛）

先行した新居浜を17分に一時は逆転した桃山、追いつ追われつの多彩の技を出し合う好ゲーム、終了5秒前、新居浜のスカイプレーミスを速攻で決め桃山サヨナラ勝ちした。

小松工 14（8−8、6−5）13 清水（千葉）

両チームやや迫力にかけたゲーム展開だったが、キーピングの良い小松が辛じて一点差を守りきった。

首里 18（8−9、10−8）17 聖光学院（福島）

実力伯仲、残り10秒前で同点、延長かと思った。5秒前首里宮城のミドルシュートが決勝点となった。盛り上った内容のある好試合

小林工（宮崎）13（7−6、6−6）12 岐阜商（岐阜）

小林の先行を追い続けた岐阜は終盤の好機をGKに好守され勝機を逸した。

岩国工（山口）21（9−9、7−7、3−2、2−0）18 前橋商

いきなり5−0と岩国、楽勝ムードだったが、前橋セットオフェンスで追い上げ、後半逆に5分前2点差の逃げきりも岩国速攻の追上げで延長。岩国巧守し速攻で走り勝った。

▽3回戦

中京、修道に辛勝

久留米工大付 31（15−7、16−6）13 八幡工

八幡立ち上り7分の優位のみ。たちまち多彩の攻めと堅いディフェンスに苦戦一方的に久留米の猛攻で、八幡を寄せつけなかった。

中京 19（8−7、11−10）17 修道

両チーム気合いの入った良い攻守、1点を先行する中京に再々追い上げた修道だが中京のポストプレーに2点差の涙を含んだ。

熊本マリスト 34（18−9、16−14）23 石橋

マリスト速攻で4点先取石橋もセットプレーで得点したがマリストの速攻には手も足も出ず苦戦後半は互いに速攻より点の取り合いで、乱戦状況であった。

川口北 15（7−7、8−6）13 四日市工

四日市6−2のリードも川口北のポストプレーが守りきれず前半同点、後半1点を争う好ゲーム。残1分で川口ポストで勝機を得た

氷見 25（14−8、11−4）12 大曲農

氷見は速いパスワークから光安が着々と得点を重ね又速攻でもうま味のあるパスワークで加点し、大曲農を寄せつけなかった。

桃山学院 31（16−2、15−3）5 佐賀農

多彩な攻めで巧みに加点する桃山のワンサイド、佐賀は完全にリズムを断たれ、散発的得点で終る

首里 19（12−6、7−6）12 小松工

フォーメーションプレーに彩えた首里は、左サイドシュートを多用し得点。小松は守備の弱さが目立った。迫力の欠けたゲーム展開だった。

小林工 20（14−7、6−9）16 岩国工

岩国のあせりのシュートミスを逆に速攻し、ややミドルシュートで攻める小林は、14−7のダブルスコアで主導権を握る。岩国の後半、走っての追撃もみごとだったが、前半の失点が影響した。

全日本高校選手権
歴代優勝校

		【男子】	【女子】
①	昭25	足利（栃木）	操山（岡山）
②		桜台（愛知）	青陵（岡山）
③		桐生工（群馬）	寝屋川（大阪）
④		桜台	稲沢（愛知）
⑤		桜台	寝屋川
⑥		桜台	明善（福岡）
⑦		桜台	寝屋川
⑧		桜台	水海道二（茨城）
⑨		清水商（静岡）	熊本市立（熊本） 寝屋川
⑩	昭34	中京商（愛知）	熊本市立
⑪		中京商	熊本市立
⑫		中京商	半田（愛知）
⑬		桜台	静岡城北（静岡）
⑭		桜台	静岡城北
⑮		明星（東京）	栃木女（栃木）
⑯		桜台	静岡城北
⑰		明星	秋田和洋女（秋田）
⑱		明星	花巻南（岩手）
⑲		下関中央工（山口）	菊池農（熊本）
⑳	昭44	下関中央工	新居浜市商（愛媛）
㉑		新居浜工（愛媛）	水海道二
㉒		湯沢（秋田）	山陽女（広島）
㉓		中大附属（東京）	深谷女（埼玉）
㉔		名城大附属（愛知）	小松市女（石川）
㉕		久留米工（福岡）	大谷（大阪）
㉖		清水（千葉）	小松市女
㉗		下関中央工	大分東（大分）
㉘		下関中央工	小松市女
㉙		久留米工大付（福岡）	小松市女
㉚	昭54	中京（愛知）	栃木女

川口北、マリスト降す

▽準々決勝

中京 17（7−8、10−6）14 久留米工大付

得	【中京】		【久米】	得
0	伊藤	GK	小野	0
0	河合	GK	北川	0
4	三輪	FP	小川	0
5	道山	FP	古賀	3
0	大川	FP	長野	3
3	河原	FP	若杉	4
3	妹尾	FP	中川	0
1	宮下	FP	花田	0
0	深谷	FP	古園井	0
0	平山	FP	角	0
1	倉見	FP	田中	0
0	尾崎	FP	坂本	4
17（2）		PT		（2）14

（審・狩野、井上）

熱戦だった。互角の両チーム僅少差で後半に、中京PTで同点とし、後5点連取しリードすれば、久留米はポストにボールを集めて追撃するがGKの好守に追加点が取れず連覇の夢が消えた。

山口北 21（9−10、12−10）20 熊本マリスト

得	【熊本】		【川口】	得
0	甲斐	GK	高橋	0
0	宮崎	GK	佐々木	0
5	高良昇	FP	荻田	0
1	内間	FP	高田	0
2	蔵原	FP	石井	0
2	吉野	FP	吉田	1
4	大浜	FP	大屋	0
0	高良尚	FP	川口	3
0	長浜	FP	石川	3
0	当銘	FP	山岸	9
6	高良茂	FP	大和屋	0
0	宮保	FP	中村	5
20（2）		PT		（3）21

（審・光島、井上）

前半16分まで一進一退後、マリスト3点連取し優勢かと見えたが川口北、山岸の得点で追い込み、10−9。勝負をかけた後半マリストペースでスタートしたが、12分2本のPTを機に、川口の速攻、コンビプレーが彩えだし、3分前

に同点に追いつき、残り20秒でだめ押し勝負を決めた。

氷　見 18（6−8 12−3）11 桃山学院

区分	【氷見】	得	【桃山】	得
GK	水谷	0	嶋田	0
GK	浦	0	国方	0
FP	高西	3	生駒	0
FP	山崎	4	辻	4
FP	光安	5	西村	4
FP	金原	0	吉村	1
FP	松田	1	山田	1
FP	沢武	0	杉森	1
FP	前	3	松田	0
FP	瀬戸	0	亀井	0
FP	中原	2	青木	0
FP	矢田	0	下條	0

11（5）ＰＴ（3）18

（審・北山 浜野）

序盤より接戦12分過から一気に4得点した桃山も、ラフプレーでPTを許し2点差のリードで折返す、後半、コンビプレーに余裕の出た氷見は速攻・ロングで一気に逆点し次々と加点すれば、桃山は氷見GK水谷の好守に合い出足をつぶされ、僅かPTを含め3点の得点しか取れず大敗した。

小　林　工 19（7−9 12−6）15 首　里

区分	【小林】	得	【首里】	得
GK	工藤	0	仲本	0
GK	竹村	0	大浜	0
FP	甲斐	8	玉城	2
FP	桑水流	4	村田	2
FP	松川	3	宮城	0
FP	児島	0	儀間	1
FP	新田	3	砂川	0
FP	折尾	0	垣花	0
FP	坂下	1	比嘉	2
FP	山崎	0	安理	0
FP	木切倉	0	宮城	3
FP	鴨	0	金城	5

15（3）ＰＴ（2）19

（審・北山 浜野）

単純な個人技の小林、パス・フエントと多彩な攻撃の首里、実力伯仲2点差で首里リードで後半へ勝負のかかった後半12分同点とした小林工は前半と違って走りに徹し、パスワーク良く加点し残り10分にして勝敗を決めた内容であった。

氷見、善戦の小林工制す

▽準決勝

中　京 15（7−6 8−5）11 川口北

区分	【川口】	得	【中京】	得
GK	高橋	0	伊藤	0
GK	佐々木	0	河合	0
FP	荻田	1	三輪	4
FP	高田	0	道山	4
FP	石井	0	大川	2
FP	吉田	0	河原	1
FP	大屋	0	妹尾	1
FP	川口	3	宮下	3
FP	石川	1	深谷	0
FP	山岸	3	平山	0
FP	大和屋	2	倉見	0
FP	中村	1	尾崎	0

15（1）ＰＴ（0）11

（審・島崎 丸岡）

中京の長身を利したロングとGKからの速攻に対し、川口北セットオフェンスからポストプレーと対象的な両チーム。前半20分まで中京7−3と圧勝していたが、スカイ等多彩なプレーで川口3点連取し一点差、後半開始逆転に成功した川口は、中京GKの好守に合い、残り9分で再度逆転され勝機を巧みにつかむ中京に突き放された。

（浜野）

氷　見 18（10−7 8−8）15 小林工

区分	【氷見】	得	【小林】	得
GK	水谷	0	工藤	0
GK	浦	0	竹村	0
FP	高西	0	甲斐	7
FP	山崎	7	桑水流	4
FP	光安	2	松川	3
FP	金原	0	児島	0
FP	松田	3	新田	1
FP	沢武	0	折尾	0
FP	前	2	坂下	0
FP	瀬戸	0	山崎	0
FP	中原	4	東	0
FP	矢田	0	鴨	0

15（2）ＰＴ（1）18

（審・北山 浜野）

巨漢を揃えた小林と俊敏さを身上とする氷見の対戦は、小林がパスエンドランによる縦への突込み9M付近のシュートに威力をみせれば、氷見は早いパスとフェントのゆさぶりを終始失わず3点差を固守した。氷見のディフェンスの好判断による速攻は、小林を完全に圧倒した。

（光島磯雄）

中京、一気の逆転勝ち

▽決勝

中　京 17（5−10 12−4）14 氷　見

区分	【氷見】	得	【中京】	得
GK	水谷	0	伊藤	0
GK	浦	0	河合	0
FP	高西	3	三輪	1
FP	山崎	3	道山	5
FP	光安	4	大川	0
FP	金原	0	河原	2
FP	松田	2	妹尾	3
FP	沢武	0	宮下	4
FP	前	1	深谷	0
FP	瀬戸	0	平山	0
FP	中原	1	倉見	1
FP	矢田	0	尾崎	0

17（2）ＰＴ（4）14

氷見の攻めに、中京のディフェンスが効を奏した。氷見はカットインの攻めにとらわれ、チャンスをつぶしたが10分過ぎから、中京のミスを逆速攻で加点10−5。

後半、立ち上がりから、中京は再びダイナミックな走りとパス、特にGKからの大胆なパスアウトが度々成功しリードを奪った。氷見は前半同様の小さいパスだけになり、中京GKの好守もあり堂々たる逆転劇で圧勝した。

（光島磯雄）

女　子

▽1回戦

彦根南（滋賀）9（2−2 7−3）5 川口北（埼玉）

前半互角、後半に入り彦根南はよく走りインターセプトから確実に得点、一方的なゲーム展開をした。

富田女（岐阜）6（3−1 3−4）5 神埼農（佐賀）

熱戦を展開したのは立ち上りだけ、凡ミスが続き低調。先行する富田を神埼追ろうがPTミスで自滅。

春日丘（大阪）16（6−5 10−4）9 松江市女（島根）

互角の序盤からしだいに春日丘の速攻、ブロックで攻め優位となった。

前原（沖縄）14（10−1 4−4）5 高岡日大（富山）

多彩なプレーで前原は高岡を圧倒、後半も高岡は攻げきも単調で得点も散発的で追切れなかった。

秋田和洋女（秋田）15（6−1 9−1）2 牧園（鹿児島）

脚力とディフェンス力に勝る和洋の快勝、点差の割にファイトのあふれる良い試合だった。

市邨学園（愛知）12（6−7 6−3）10 藤村女（東京）

好カードは速攻の差で勝負が決まった。特に前半、藤村は好調とみえたが、市邨ペースで一気に押し切られた。

明石（兵庫）11（5−6 5−4 1−0 0−0）10 新潟江南（新潟）

明石のロング、江南速攻が巧え互角、延長に入り明石カットインから貴重な1点を上げ逃げきった

筑紫女学園（福岡）8（6−3 2−3）6 日川（山梨）

先行筑紫に追いすがる日川もラフな守備でPTを許し、攻めてもPTをはずすなどで惜敗した。

大分東（大分）12−0〈棄権〉釧路商（北海道）

明倫（神奈川）17（7−4 10−4）8 高松南（香川）

明倫は高松の荒い守りをついて有利に試合を進めた。高松は単調な攻めと、ミスが目立った。

仁愛女（福井）12（6−5 6−3）8 麻生（茨城）

0−4とされた麻生は小野瀬を軸に追い上げ好ペースに見えたがシュートミス多く自滅した。

西京商（京都）14（8−5 6−5）10 島原農（長崎）

西京セットからのシュートで着々と加点、巧みに島原を自分のペースに巻き込んで快勝。

小林商（宮崎）18（7−4 11−4）8 米子南商（鳥取）

多彩の攻めの小林に対し、米子単調な攻めで小林の守りを崩すだけの力に欠けた。

大正（高知）15（4−4 11−4）8 郡山（福島）

序盤両チーム互角の試合であったが、大正伊賀の活躍で差を拡げ

た。郡山も元気あふれ好チーム。

吉井（群馬）15（9—2、6—6）8 新宮（和歌山）

吉井は立ち上がりから優位をとり楽に展開した。新宮は後半の調子をもっと早く出したかった。

山陽女（広島）17（8—3、9—3）3 佐久（長野）

山陽の走りで一気に5—0とペースをつかめば、佐久固さが抜けぬまま、単調な攻めで終った。

▽二回戦

小松市女（石川）12（2—1、10—4）5 彦根南

前半互角2—1の僅少差、勝負の後半、ロング、速攻と小松一方的に、彦根をつき放した。

富田女 9（6—3、3—5）8 盛岡二（岩手）

後半盛岡の激しい追い上げに、富田GKの好守で切りぬけた。

春日丘 16（4—3、12—2）5 青森西（青森）

暑さでスタミナを前半で使い果した青森は、後半春日丘に一方的に走り負けした。

栃木女（栃木）9（4—4、5—4）8 前原

一進一退の両チーム、自からのミスを得点に許し自滅気味、後半終了2分栃女のロングで決着した。

秋田和洋女 12（5—0、7—2）2 倉敷天城（岡山）

固くなった両チーム5—0と大差で秋田安全圏、後半も速攻で天城を寄せつけず押し切った。

市邨学園 13（7—0、6—6）6 新居浜商（愛媛）

市邨は中央からのシュート、速攻で矢つぎ早に得点7—0とし、新居浜は反撃も遅きに失した。

徳山（山口）20（6—2、14—4）6 明石

序盤互角の戦いだったが、多彩な攻めとスピードに勝る徳山は、後半明石を一方的に引き離した。

筑紫女 10（8—2、2—4）7 米子女（山形）

立ち上がりから速攻の連続で激しい攻防を繰り返した好試合。米子の激しい反撃も前半の失点で及ばず。

大分東 22（11—1、11—6）7 石川（福島）

大分の幅広い攻めと、固いディフェンスを石川が崩せぬ間に大差で敗れた。

明倫 12（7—5、5—2）7 暁（三重）

激しい攻防の中、互角のゲームも前半のみ、後半3点連取し明倫優位に進め、暁をつき離した。

涌谷（宮城）12（4—1、8—1）2 仁愛女

涌谷はボールコントロールよくカットインして加点し危気なく仁愛を寄せつけなかった。

夙川学院（兵庫）21（9—5、12—4）9 西京商

立ち上がりから夙川ペース、西京も後半症れが出て、夙川の速攻を許して苦戦して終った。

昭和学院（千葉）17（5—4、12—2）6 小林商

前半互角、勝負かかった後半、昭和は太田を軸に着々と加点した小林も健闘した好試合だった。

二俣（静岡）11（8—3、3—3）6 大正（高知）

二俣の多彩な攻めと厚いディフェンスの壁に大正破れず、逆にミスで自滅した。

吉井 29（17—2、12—7）9 池田（徳島）

吉井は伸び伸びしたプレーで一気に点差を離した。池田は攻めの幅が狭く単調すぎた。

熊本女商 14（6—4、8—5）9 山陽女（広島）

山陽は熊本の野田をマンツーマンして万全を期したが、善戦空しく、追上げも時すでに遅しだった

市邨、涌谷が敗退

吉井は熊本女に惜敗

▽3回戦

小松市女 15（9—4、6—3）7 富田女

序盤互角の戦況を、小松ロングと速攻でリードすれば、富田もGKの好守で盛り上げたが力つきた

栃木女 8（2—3、6—3）6 春日丘

前半競り合いも、後半開始栃木の4点連取で波を変えた。春日丘残り5分追い上げも遅きに機した

秋田和洋女 13（6—2、7—5）7 市邨

秋田は固いディフェンスで市邨のミスをさそい逆速攻を利かして勝利した。市邨追力ある反撃も、時遅かった。

徳山 23（13—1、10—2）3 筑紫女

攻守に勝る徳山は、カットインやロングに活路を見だそうとする筑紫の芽を封じて、快勝した。

大分東 18（7—3、11—6）9 明倫

先行を明倫に許したものの、走力とコンビに一日の長のある大分は得点をソツなく上げ優位に立った。

夙川学院 21（12—1、9—5）6 涌谷

出足快調一気に10—0で圧倒的な試合運びで夙川主導権を握った涌谷立ち直ったものの寄せつけなかった。

昭和学院 10（3—4、7—1）5 二俣

両チームロングの打ち合いで前半互角。二俣後半15分間無得点という拙さが、昭和に生気を与えた

熊本女商 12（9—1、3—7）8 吉井

多彩な熊女の攻めの前にペースを乱たかのような吉井は、後半の健闘も前半の失点が目立ち惜敗。

小松市女、栃女に敗る

▽準々決勝

栃木女 5（2—1、3—3）4 小松市女

【栃木】	得		得	【小松】
猪能	0	GK	0	本
栗原	0	GK	0	辻
堤崎	1	FP	0	中田
石塚	0	FP	0	沢田
宇賀神	2	FP	1	太田
鈴木	0	FP	0	手打
島田	0	FP	1	河原
岩谷	1	FP	0	金山
大栗	0	FP	2	大西
見目	0	FP	0	東
森田	1	FP	0	前
安藤	0	FP	0	竹
	5	(0) PT (0)	4	

（審・新村 島崎）

小松はセットオフェンスに精彩を欠き、栃木の好守に阻まれた。栃木は地味に数少ないチャンスを得点し最小点差ながら見事な勝利を修めた。

徳山 15（6—2、9—2）4 秋田和洋女

【徳山】	得		得	【秋田】
小山	0	GK	0	堀井
大石	0	GK	0	鈴木
岡村	1	FP	0	斉藤
田中	1	FP	2	安田
原	2	FP	1	時田
松田	5	FP	0	安藤
山口	6	FP	1	鎌田
徳原	0	FP	0	小松
栗田	0	FP	0	佐川
寺西	0	FP	0	北川
久保	0	FP	0	仙北屋
五嶋	0	FP	0	若松
	15	(2) PT (0)	4	

（審・新村 島崎）

徳山は10分すぎから、多彩な攻めで着実に得点をあげ6—2で後半へ、和洋は反逆のペースに乗れぬばかりか、守備の乱れから得点を許し、徳山のワンサイドゲームとなった。

大分東 14（7—6、7—7）13 夙川学院

得	【鳳川】		【大分】	得
0	藤木	GK	田中	0
0	斉藤	GK	小野	0
3	小出	FP	近藤	6
6	秋成		鈴木	2
0	神山		石川	0
2	小出		久保田	0
0	足立		斉藤	3
0	松田		椎原	0
2	若水	（審・望月・丸岡）	鈴木	2
0	李		実崎	0
0	牧野		三浦	1
0	北山		中川	0

14（1） PT （1）13

大分東は開始早々PTを決め、浮き足立った鳳川を攻め4—0と先行し一方的ペースかと思ったが、鳳川はポストプレーを使い着々と追い上げ、ミスで災いした失点も残り2分で同点にしたが、残り30秒で大分はポスト鈴木の得点でサヨナラ勝ちした。

熊本女商 8（2—2、6—1）3 昭和学院

得	【熊本】		【昭和】	得
0	荒木	GK	池田	0
0	岩井	GK	津水	0
0	河田	FP	高坂	0
0	関		土屋	0
0	久保田		高野	0
0	野田		堀川	1
3	桑原		萩原	0
2	田守		太田	2
1	田中	（審・丸岡・望月）	進藤	0
1	磯崎		宮下	0
1	河野		星野	0
0	上田		藁谷	0

3（0） PT （1） 8

前半序盤で両チームともセットプレーからの得点で2—2、以降決め手がなく互角で勝負を後半にかけた、熊本はGKの攻守からの速攻で確実に得点を重ねれば、昭和は太田のロングシュートだけに頼よりコンビの攻めがなく完敗した。

九州同士、熊女商が進出

▽準決勝

栃木女 10（6—4、4—3）7 徳山

得	【徳山】		【栃木】	得
0	小山	GK	猪熊	0
0	大石	GK	栗原	0
0	岡村	FP	堤崎	2
0	田中		石塚	1
1	原		宇賀神	2
2	松田		鈴木	4
3	山口		島田	0
1	徳原		岩谷	0
0	栗田	（審・光島・狩野）	大栗	0
0	寺西		見目	1
0	久保		森田	0
0	五嶋		安藤	0

10（0） PT （2）7

前半栃木女は鈴木のロングシュート。原はポストへのパスで確実に得点したのに対し、徳山はセットプレーからカットインプレーで応戦したが、PTをはずし得点に結びつけなかった。後半立ち上り徳山2本のPTを一本外し、追い上げのムードを壊した中盤、栃木女が確実に得点したのに対し、徳山は再々のチャンスをGKの巧守に阻まれ最後まで得点差をちぢめることが出来なかった。

（北山　隆）

熊本女商 11（4—3、7—3）6 大分東

得	【熊本】		【大分】	得
0	荒木	GK	田中	0
0	岩井	GK	小野	0
2	河田	FP	近藤	3
0	関		鈴木	2
0	久保田		石川	0
4	野田		久保田	0
2	桑原		斉藤	1
3	田守		椎原	0
0	田中	（審・望月・新村）	鈴木	0
0	磯崎		実崎	0
0	河野		三浦	0
0	上田		鈴木	0

6（0） PT （2）11

手の内を知り尽した相手同志、熊本中央からのシュートで先行、一進一退の後、食い下る大分を圧え4—3で前半を終了。後半大分の反撃が期待されたが、5分過ぎから次々と加点、これに対し大分は熊本のディフェンスを崩すことができなかった。勝因は熊本がディフェンスに一考したことだった。

（狩野幸介）

▽決勝

栃木女 11（4—2、7—4）6 熊本女商

息づまる熱戦も栃木の楽勝となる。熊本の早いペースでの攻めと栃木の終始変らぬ攻めと対象的であったが、栃木の鈴木が攻守の要となりエースらしく活躍した。熊本は野田のシュートが不発に終り苦しんだ。後半熊本の守りは栃木鈴木に気をとられ、他の者に加点させた。またフリースローに一層の工夫がほしかった。

（狩野幸介）

得	【熊本】		【栃木】	得
0	荒木	GK	猪熊	0
0	岩井	GK	栗原	0
0	河田	FP	堤崎	0
0	関		石塚	0
0	久保田		宇賀神	2
3	野田		鈴木	6
1	桑原		島田	0
2	田守		岩谷	0
0	田中	（審・望月・新村）	大栗	0
0	磯崎		見目	1
0	河野		森田	2
0	上田		安藤	0

11（0） PT （0） 6

インター・ハイ総評

清水　正
（全国高体連ハンドボール部副部長）

昭和54年度全国高等学校総合体育大会高松宮賜杯第30回全日本高等学校ハンドボール選手権大会は8月1日神戸市神戸中央体育館の開始式に始まり、8月2日より7日までの6日間、神戸中央体育館・王子スポーツセンター体育館・神戸製鋼㈱健保体育館・川崎重工㈱健保体育館・県立神戸高校体育館の5会場において、全国各都道府県二千余チームの中より激しい予選を勝ち抜いた精鋭男子、48チーム・女子、47チームにより華々しく開催された。

本年は全国高体連ハンドボール部創設30周年記念大会であるとともに、モスクワオリンピックアジア予選の年でもあり、参加選手の意気も一段とあがり、「競おう技」「深めよう友情」のスローガンのもとに、母校の栄誉と自己の栄光の為に日頃鍛えぬいた成果を競い合い、若さと、力強さに溢れた熱戦が展開された。

本大会は神戸市の立地条件から本大会始まって以来初の総て体育館での開催ということで危惧された面もあったが、先ず開始式は各チーム7人の参加と小規模化されたが、観覧席を巧みに利用しチームごとに残余の人員は観覧席での参加と好アイデアによりこれを補い、例年炎天下での開始式に比べ事故者も少なく好評であったが、ただ屋外に比し入場行進に迫力が見られなかった。

競技は、男子では、春の選抜大会優勝の中大附属高が2回戦で敗れる破綻はあったが、決勝戦は中京高(愛知)・氷見高（富山）の共に選抜大会出場校の対戦となり、選抜大会では、中京高が2点差で氷見高を破っている。中京高はこれまで本大会で最も激戦といわれるAゾーンで、佐世保北高、修道高、久留米工大附属高を激戦の末僅差で破り、準決勝戦で川口北高を破っての決勝戦進出であり、初めより激しい苦しい戦いであった。これに対し氷見高は、北佐久農高大曲農高、桃山学院高を大差で破り、準決勝戦において小林工高を破り、比較的楽に決勝戦に進出した。

試合は長身者の多い、速攻とダイナミックな攻撃の中京高と、小柄ではあるが速いパスワークを持つ氷見高と対照的な一戦となった。前半、中京高は、氷見高の速いローリングのパスを巧みに防ぎリードを保ったが、10分過ぎより中京

高の攻撃に厚みがなくなり、氷見高のカットインからの逆速攻が実を結び、10対5とリードし前半を終わり、氷見高の圧勝を思はせたが後半、氷見高は優勝を意識したか動きが悪くなり、小さなパスだけになり、縦のするどい動きがなくなった。これに対し、中京高は、長身を利しての攻撃と速い動きに併せて、GKの好守、好判断により得点をあげ、逆転劇で圧勝し、18年ぶり4度目優勝の偉業をなし遂げた。

またベストエイトに、久留米工大附属高、マリスト学園高、首里高、小林工高の4校が進出した、九州地区の健闘が目立った。

女子では、男子と同じく春の選抜大会優勝校の小松市立女子高が3回戦で破れ、上位校の技術の差を如実に示したが、共に長身のポイントゲッターを有する、栃木女子高、熊本女子商高の名門校が勝ち抜き、決勝戦に進出した。

試合は両校エースの打ち合いとなったが、熊本女子商高の速いペースでの攻撃に対し、栃木女子高の終始変らぬ遅いペースでの攻めと対照的であったが、前半15分までにリードした栃木女子高のゆとりと、相反した熊本女子商高のあせり、その盲点をついた、栃木女子高の巧みな攻撃により、栃木女子高が圧勝し15年ぶり2度目の優勝を飾った。

その外準決勝戦に進出した、徳山高(山口)、大分東高(大分)、地元で唯一つベストエイトに進出した夙川学院高(兵庫)、惜しくも3連覇を失した小松市立女子高（石川）、初出場ながら栃木女子高と互格に対戦した前原高（沖縄）の健闘が目立った。

全般的に男子では、特にスタープレーヤーに依存したチームよりは、全体のまとまり、スピード、スタミナが勝敗を決定し、女子では、長身選手の活躍が目立った。

特に参加各校が技術の優劣は別として、本大会が学校教育の場であるとの自覚が終始高校生らしい真面目プレーとなり、全力を尽くしての健闘と立派なマナーは一戦一戦がすばらしいものとなり、大会の目的を十分果たし得たものと、深い敬意を表すると共に本大会がその趣旨にのっとり、所期の目的を達成したものと思われる。

大会運営については、地元関係者の努力によりスムーズの運営であり、大変良かったけれども、会場が分散されたため、やや盛り上がりに欠けた面が見られた。

ただ残念であったのは本大会始まって以来初めて棄権校がでたことであり、今後の適切な指導が望まれる。終わりに準備運営に努力された兵庫県実行委員会並びに支援下さった関係諸団体、役員及び補助員の皆様に、感謝の意を表し総評といたします。

今夏も韓国勢に屈伏

第13回（女子第6回）日韓高校交流試合は、8月16日から20日まで関東高校選抜男女チームが訪韓して、ソウルで男女各2試合が行なわれた。

このところ、劣勢の日本側の奮起が期待されたが、この交流戦を年間の大きな目標の一つにしている韓国勢は、今年も秀れた脚力を武器に、混成の日本チームを押しまくり完勝した。

これで通算成績は、男子が日本側34戦8勝4分22敗、女子が日本側12戦3勝9敗となり、日本の男子は第8回（昭48）以来、2分けをはさんで12試合無勝利、同女子は第4回（昭52）以来6連敗となった。

日本側の低迷は、シリーズに対する気構えが原因という声が圧倒的だ。

韓国側は、両国にまたがるチャンピオンシップという、いわばタイトルマッチと考えて、単独校を代表に送り、練習量も充分だが、日本側は、あくまで親善試合、ピックアップチーム、それも、総花的な選手選考で〝実力本位〟とはいえない。

日本協会、全国高体連とも、再考の時期が来ている。

▽男子第1戦（8月17日・ソウル総合運動場総合体育館）

東亜高（韓国）24（12－11、12－7）18 関東高校選抜（日本）

得	東亜（身長）		関東（所属・身長）	得
0	沈禎万（185）	GK	山木（明星・180）	0
0	南伯鎬（180）	GK	羽深（川口工・176）	0
0	金寿烈（170）	FP	実方（中大付・182）	6
0	鄭鉉淑（174）	FP	福士（拓大一・177）	2
0	呉世勲（177）	FP	池田（川口工・172）	0
4	崔末定（172）	FP	山岸（川口北・179）	0
2	鄭淳珍（176）	FP	柴沼（土浦一・187）	6
6	朴兼洪（177）	FP	前田（相模原・174）	0
0	李栄淑（177）	FP	岡（馬頭・175）	0
10	李相孝（179）	FP	今井（富岡・180）	3
0	金成大（174）	FP	菊島（日川・175）	0
2	李茂柱（174）	FP	島田（清水・178）	1
24	（7）	PT	（0）	18

（審・朴鍾甲、高丙勲）

▽女子第1戦（男子第1戦に同じ）

仁川女高（韓国）12（5－8、7－0）8 関東高校選抜（日本）

得	仁川（身長）		関東（所属・身長）	得
0	李玉地（161）	GK	久保（佼成学・168）	0
0	俞美蘭（162）	GK	勝沼（結城二・155）	0
1	洪聖姫（170）	FP	毛利（藤村女・162）	2
3	李光玉（168）	FP	斉藤（拓大一・154）	0
4	琴英善（167）	FP	榎本（浦和市・163）	1
0	鄭美英（163）	FP	大嶋（浦和西・158）	0
2	李相敬（160）	FP	小野瀬（麻生・162）	1
2	金麗淑（159）	FP	山本（高浜・164）	0
0	李鐘愛（155）	FP	岡本（小山城南・161）	0
0	俞炳海（158）	FP	土筆（吉井・164）	2
0	金明愛（163）	FP	金井（日川・163）	2
0	金英蓮（160）	FP	高野（昭和学・165）	0
12	（1）	PT	（1）	8

（審・李庸憲、成鍾元）

▽男子第2戦（19日・ソウル総合運動場総合体育館）

永東高（韓国）26（17－13、9－6）19 関東高校選抜

得	永東（身長）		関東	得
0	閔永基（183）	GK	羽深	0
0	朴幸烈（171）	GK	山木	0
0	朴敝奎（171）	FP	実方	6
8	金永男（175）	FP	福士	1
0	金竜天（169）	FP	池田	1
0	朴炳容（176）	FP	山岸	1
7	姜世容（173）	FP	柴沼	7
7	朴敬守（175）	FP	前田	0
0	金明善（178）	FP	岡	0
0	張来官（176）	FP	今井	3
2	金呂根（178）	FP	菊島	0
2	沈京燮（182）	FP	島田	0
26	（3）	PT	（0）	19

（審・沈炯燮、高光錫）

▽女子第2戦（男子第2戦に同じ）

忠州女商（韓国）23（12－5、11－4）9 関東高校選抜

得	忠州（身長）		関東	得
0	石祐先（166）	GK	久保	0
0	全美玉（164）	GK	勝沼	0
0	趙寅植（166）	FP	毛利	4
0	朴美子（164）	FP	斉藤	0
5	韓相美（164）	FP	榎本	1
3	柳京美（167）	FP	大嶋	2
7	安春仙（166）	FP	小野瀬	2
5	朴完淑（161）	FP	山本	0
3	崔銀栄（170）	FP	岡本	0
0	洪承海（158）	FP	土筆	0
0	金美淑（160）	FP	金井	0
0	鄭福子（162）	FP	高野	0
23	（3）	PT	（0）	9

（審・李文植、柳在忠）



"まごころのおつきあい"が
私たちのモットーです


あなたの銀行

北國(ホッコク)銀行

●本店　石川県金沢市下堤町　●店舗　石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・102か店

雷災からゴルファーを守る大崎のFYケージ


東京ゴルフ倶楽部

いま、安全なゴルフ場作りが、
社会的なニーズを呼んでいます。

もしプレー中に雷に会ったら、せっかくのナイスショットも、命がけで逃げなければなりません。
そんな時、安全な待避小屋が備えてあれば、あなたのゴルフ場は完璧です。
落雷は、時、場所、人を選びません。安全な待避小屋→大崎のFYケージを適所に設置して中に入れば、雷災から完全に保護されます。


大崎電氣工業株式會社
本社　東京都品川区東五反田二丁目二番七号
☎（03）443−7171（大代表）〒141

FYケージ
防雷シエルター
工業所有権出願中
特許３件
実用新案４件
意匠５件
商標１件

第30回全日本高校選手権
各県予選上位戦記録

◆青森▽男子準々決勝
青森商 19—5 七戸
鰺ケ沢 17—10 青森東
三本木 15—11 野辺地工
野辺地 16—8 弘前南
▽同準決勝
青森商 22—5 鰺ケ沢
野辺地 23—11 三本木
▽同決勝
青森商 18（11—5、7—4）9 野辺地
▽女子1回戦
七戸 9—6 三本木
野辺地 15—3 青森東
▽同準決勝
青森西 19—9 七戸
野辺地 20—4 青森中央
▽同決勝
青森西 6（2—1、4—2）3 野辺地

◆秋田▽男子予選リーグA
大農 35—8 横手
湯沢 15—2 大東
湯沢 12—11 大農
横手 17—10 大東
大農 26—6 大東
湯沢 14—11 様手
▽同B
羽後 18—14 秋南
大曲 12—12 羽後
大曲 23—9 秋南
▽同準決勝
湯沢 12—6 羽後
大農 23—13 大曲
▽同決勝
大農 11—10 湯沢
▽女子
大農 13—7 大曲
和洋 19—0 六郷
和洋 13—7 大曲
大農 17—1 六郷
大曲 9—3 六郷
和洋 16—8 大農
〔順位〕①秋田和洋女子②大曲農業③大曲

◆岩手▽男子準々決勝
盛岡一高 17（延）16 花巻北
宮古 17—12 岩手
盛岡商 18—6 水沢
一関工 21—20 盛岡四
▽同準決勝
盛岡一 14—5 宮古
盛岡商 24—9 一関工
▽同決勝
盛岡商 14（8—5、6—3）8 盛岡一
▽女子準々決勝
花巻南 12—3 宮古
盛岡三 8—6 岩手女子
盛岡二 6—4 黒沢尻南
花巻北 11—6 釜石商
▽同準決勝
花巻南 11—6 盛岡三
盛岡二 7—3 花巻北
▽同決勝
盛岡二 4（2—2、2—1）3 花巻南

◆福島▽男子予選リーグ順位
A組①安積商②郡山北工
B組①学法石川高②岩農
C組①聖光学院高②南会津
D組①福島高②長沼
▽同決勝トーナメント準決勝
安積 11—8 福島
聖光学院 16—13 学法石川
▽同決勝
聖光学院 18（9—7、9—5）12 安積
▽女子予選リーグ順位
A組①県石川高②郡女
B組①緑が丘高②福女
C組①長沼高②安女
D組①平商高②県福工
▽同決勝トーナメント準決勝
石川 13—6 平商
緑が丘 7—6 長沼
▽同決勝
石川 10（3—4、7—1）5 緑が丘

◆石川▽男子準々決勝
県工 18（延）16 寺井
泉丘 25—4 松任
小松 23—7 星稜
小松工 26—3 松陵工
▽同準決勝
県工 12—11 泉丘
小松工 10—9 小松
▽同決勝
小松工 18（7—7、11—2）9 県工
▽女子1回戦
小松市女 36—0 短大高
松任 19—5 津幡
星稜 7—5 加賀
小松商 11—6 金商
▽同準決勝
小松市女 24—1 松任
小松商 9—3 星稜
▽同決勝
小松市女 16（7—1、9—2）3 小松商

◆富山▽男子準々決勝
氷見 29—6 富工
高商 15—13 新湊
小杉 12—10 二上工
高日大 26—6 富東
▽同準決勝
氷見 29—5 高商
高日大 17—4 小杉
▽同決勝
氷見 14（6—2、8—5）7 高日大
▽女子準々決勝
有磯 11—5 富女短
高商 21—3 富北
高女 18—0 高岡
高岡日大 10—6 清光女
▽同準決勝
有磯 14—3 高商
高岡日大 8—6 高女
▽同決勝
高岡日大 9（5—4、4—4）8 有磯

◆群馬▽男子準々決勝
前橋商 18—6 藤岡高
下仁田高 22—5 桐生高
利根農 14—12 桐生工
吉井高 17—11 富岡高
▽同準決勝
前橋商 22—16 下仁田高
吉井高 29—4 利根農
▽同決勝
前橋商 12（7—3、5—7）10 吉井高
▽女子準々決勝
佐藤学園 14—3 桐生女
郡女短大附 11—10 下仁田
吉井 24—7 前橋市女
高崎市女 9—8 前橋東商
▽同準決勝
郡女短大附 16—2 高崎市女
吉井 13—6 佐藤学園
▽同決勝
吉井 17（7—3、10—8）11 郡女短大附

◆茨城▽男子準々決勝
土浦一 21—9 鉾田一
岩井 22—11 水海道一
麻生 24—17 土浦工
笠間 23—14 下館一
▽男子準決勝
土浦一 21—10 岩井
麻生 16—12 笠間
▽同決勝

土浦一 13（7—3、6—8）11 麻生
▽同女子準々決勝
麻生 11—8 水海道二
下妻二 17—7 岩井
潮来 14—5 藤代
竜ケ崎二 11—5 結城二
▽同女子準決勝
麻生 22—12 下妻二
竜ケ崎二 8—5 潮来
▽同女子決勝
麻生 10（7—5、3—3）8 竜ケ崎二

◆栃木▽男子予選トーナメント2回戦
馬頭 26—13 烏山
足工 33—8 足南
国学 31—3 足商
石橋 40—3 宇土
▽同決勝リーグ
足工 18—13 馬頭
石橋 12—10 国学
馬頭 17—12 国学
足工 14—7 石橋
石橋 17—13 馬頭
国学 12—9 足工
〔順位〕①足利工業（12年ぶり4回目優勝）②石橋高校③馬頭高校
▽女子予選リーグAブロック順位①小城②馬頭③足女
Bブロック順位①栃女②藤岡③足商
Cブロック順位①国学②佐女③田沼
1位リーグ
栃女 11—6 小城
栃女 8—6 国学
小城 9—7 国学
2位リーグ
藤岡 9—6 佐女
佐女 12—8 馬頭
藤岡 13—3 馬頭
3・4位決定戦
国学 8—6 藤岡
〔順位〕①栃木女子高校（3年連続17回目優勝）②小山城南高校③国学院栃木高校

◆山梨▽男子準々決勝
日川 20—16 長坂
塩山商高 34—7 韮崎
吉田高 22—15 甲府工
甲府一高 24—12 甲府東
▽同準決勝
日川高 16—9 塩山商高
甲府一高 17—16 吉田高
▽同3位決定戦
吉田 20—14 塩山商高
▽同決勝
日川 20（11—6、9—5）11 甲府一高
▽女子準々決勝
日川 28—2 甲府一
甲府商 11—8 甲府南
第一商 6（延）6 吉田（PTC 1—0）
山梨高 13—2 甲区東高
▽同準決勝
日川高 23—2 甲府商高
山梨高 21—3 第一商高
▽同3位決定戦
甲府商高 6—3 第一商高
▽同決勝
日川高 14（7—1、7—3）4 山梨高

◆東京▽男子決勝リーグ
中大附 26—14 拓大一
駒大高 17—13 明星
中大附 17—12 明星
駒大高 24—16 拓大一
明星 25—17 拓大一
中大附 18—16 駒大高
【順位】①中大附②駒大高③明星④拓大一
▽同女子決勝リーグ
藤村女 15—5 五商
拓大一 14—4 三宅
藤村女 13—8 三宅
拓大一 10—3 五商
三宅 14—11 五商
藤村女 11—8 拓大一
【順位】①藤村女②拓大一③三宅④五商

◆三重▽男子3回戦
四日市工 18—7 桑名西
尾鷲 20—4 四日市西
津工 12—5 桑名
▽同決勝リーグ
四日市工 20—11 津工
尾鷲 8—6 津工
四日市工 19—12 尾鷲
【順位】①四日市工②尾鷲③津工
▽女子準決勝
暁 18—1 四日市商
津女子 7—0 四日市
菰野 7—2 尾鷲
▽同決勝リーグ
暁 10—4 菰野
津女子 7—4 菰野
暁 11—3 津女子
【順位】①暁②津女子③菰野

◆奈良▽男子準々決勝
生駒 17—4 正強
奈良 16（延）14 東大寺
添上 11— 郡山
橿原 14—13 天理
▽同準決勝
生駒 15—11 奈良
添上 11—9 橿原
▽同決勝
添上 15（7—4、8—8）13 生駒
▽女子準々決勝
十津川 10—7 桜商
一条 4—3 帝塚山
郡山 10—0 生駒
▽同準決勝
添上 30—2 十津川
郡山 15—1 一条
▽同決勝
郡山 8（2—3、6—1）4 添上

◆大阪～中央大会～▽男子準々決勝
摂津 11（PTC 2—1）11 住吉
都島工 24—4 北野
此花 26—9 大阪学院
桃山 13—12 枚方
▽同5位決定リーグ
大阪学院 18—9 北野
枚方 21—8 住吉
大阪学院 18—17 住吉
枚方 15—11 北野
枚方 15—9 大阪学院
▽同決勝リーグ
都島工 10—6 此花
桃山 20—3 摂津
桃山 12—7 都島工
此花 19—14 摂津
桃山 17—10 此花
都島工 10—7 摂津
〔順位〕①桃山学院②都島工業③此花学院④摂津⑤枚方
▽女子準々決勝
春日丘 11—1 城南
大谷 18—3 箕面
宣真 8—4 枚方
鶴見商 8—6 豊中
▽同決勝リーグ
春日丘 7—6 宣真
大谷 6—4 鶴見商
宣真 7—5 鶴見商
春日丘 8—4 大谷
大谷 5—4 宣真
〔順位〕①春日丘②大谷③宣真

◆京都▽男子準々決勝
伏見工 17—7 北嵯峨
洛北 18—6 洛東
乙訓 21—16 城南
向陽 24—12 同志社
▽同準決勝
伏見工 18—11 洛北
乙訓 13—12 向陽
▽同決勝

乙訓 18（10—5 8—7）12 伏見工

▽女子の部準々決勝
塔南 17—4 城南
明徳 8—6 精華
京女 15—4 乙訓
西京 12—1 日吉丘

▽同準決勝
塔南 9—8 明徳
西京 7—6 京女

▽同三位決定戦
京女 12—10 明徳

▽同決勝
西京 7（4—5 3—0）5 塔南

◆和歌山▽男子準々決勝
御坊 28—4 海南
桐蔭 17—16 市商
耐久 14—12 新宮
県商 17—3 箕島

▽同準決勝
御坊 26—8 桐蔭
県商 25—10 耐久

▽同決勝
御坊 10（6—4 4—3）7 県商

▽女子準々決勝
粉河 13—3 箕島
県商（キケン）貴和
御坊 15—3 笠田
新宮 13—3 耐久

▽同準決勝
新宮 7—2 粉河
御坊 9—4 県商

▽同決勝
新宮 7（4—1 3—1）2 御坊

◆広島▽男子準々決勝
修道 37—6 山陽
広 13—6 賀茂
三原工 22—12 呉港
安芸 31—5 三次工

▽同準決勝
修道 26—4 広
三原工 26—11 安芸

▽同決勝
修道 23（10—9 13—5）14 三原工

▽女子準々決勝
山陽女 28—2 呉宮原
進徳 14—2 戸手商
呉豊栄 15—2 三次
比治山 13—4 呉商

▽同準決勝
山陽女 22—3 進徳
比治山 10—4 呉豊栄

▽同決勝
山陽女 20（10—2 10—1）3 比治山

◆鳥取▽男子準々決勝
倉吉産 13—9 境
倉吉工 18—8 米子北
境港工 18—8 米子東

▽同準決勝
倉吉東 16—7 倉吉産
境港工 30—9 倉吉工

▽同決勝
境港工 13（6—5 7—5）10 倉吉東

▽女子リーグ
米子南商 27—4 米子北
倉吉西 27—1 米子東
倉吉産 24—3 米子北
米子南商 23—3 米子東
倉吉産 13—9 倉吉西
倉吉産 13—3 米子東
倉吉西 18—2 米子北
米子南商 12—8 倉吉産
米子北 3—2 米子東
米子商 10—4 倉吉西

〔順位〕①米子南商高②倉吉産高③倉吉西高④米子北高⑤米子東高

◆岡山▽男子決勝リーグ
倉商 20—11 岡山操山
倉商 24—9 水工
倉商 15—9 倉工
水工 25—9 岡山操山
倉工 15—11 岡山操山
倉工 16—16 水工

【順位】①倉商②水工③倉工④岡山操山

▽女子決勝リーグ
落合 10—9 西大寺
天城 10—0 西大寺
天城 12—5 落合

【順位】①天城②落合③西大寺

◆山口▽男子準々決勝
下関中央工 25—13 山口高
岩国高 12—9 下松工
徳山工 15—14 徳山高
岩国工 17—12 下松高

▽男子準決勝
下関中央工 12—9 岩国高
岩国工 29—10 徳山工

▽同決勝
岩国工 23（13—7 10—10）17 下関中央工

▽女子準々決勝
徳山 26—3 熊毛社
山口中央 8—6 岩国高
徳佐 13—4 徳山工
岩国商 26—8 早鞆高

▽同準決勝
徳山 21—6 山口中央
岩国商 12—4 徳佐

▽同決勝
徳山 10（3—1 0—1 3—4 4—3）9 岩国商

◆香川▽男子準々決勝
高松工芸 11—8 高松一
坂出工 20—12 坂出一
三本松 12—7 高々
高松商 16—7 高松東

▽同決勝リーグ
高松工芸 13—6 坂出工
高松工芸 18—9 三本松
高松工芸 5—5 高松商
三本松 17—6 坂出工
高松商 13—5 三本松
高松商 15—12 坂出工

【順位】①高松工芸②高松商③三本松④坂出工

▽女子準決勝
高松南 17—3 高松西
高松一 9—8 三本松

▽同決勝
高松南 10（5—3 5—1）4 高松一

◆愛媛▽男子準々決勝
新居浜工 23—8 松山西
松山東 14—7 松山北
新田 11—10 松山工
松山南 14—7 松山北中島

▽同準決勝
新居浜工 16—11 松山東
新田 記録不明 松山南

▽同決勝
新居浜工 24（11—2 13—1）3 新田

▽女子準々決勝
新居浜商 17—2 今治南
伊予農 16—7 新居浜東
松山西 12—1 土居
新居浜西 11—6 西条農

▽同準決勝
新居浜商 16—7 伊予農
新居浜西 9—7 松山西

▽同決勝
新居浜商 5（1—2 4—0）2 新居浜西

◆長崎▽男子準々決勝
佐西 16—9 西彼
国加 16—13 日大
佐北 15—7 鹿工
長工 14—10 瓊浦

▽同準決勝
佐西 11—10 国加
佐北 12—9 長工

▽同決勝
佐北 12（6—2 6—2）4 佐西

▽女子準決勝
島農 15—3 佐北
日大 12—9 佐商

▽同決勝

島原農 8（3－5 5－1）6 日大

◆福岡▽男子準々決勝
久工大附 11（延）9 小倉工
東海五 13－11 筑紫中
福工 18－3 博多工
小倉西 18－12 三池
▽同準決勝
久工大附 21－14 東海五
小倉西 17－13 福工
▽同決勝
久工大附 23（14－5 9－8）13 小倉西
▽女子準々決勝
筑女 19－1 香椎
筑中央 不戦勝 明善
福高 12－6 福女
東海 12－2 浮羽
▽同準決勝
筑女 11－5 筑中央
東海 7－4 福高
▽同決勝
筑女 13（6－6 7－0）6 東海

◆佐賀▽男子準々決勝
神埼農 14－13 佐賀東
佐賀西 12－10 佐賀商
▽同準決勝
佐賀農 20－10 佐賀商
佐賀西 14－11 神埼農
▽同決勝
佐賀農 22（12－3 10－4）7 佐賀西
▽女子決勝リーグ
嬉野商 7－4 佐賀東
神埼農 7－5 佐賀女
佐賀女 8－4 嬉野商
神埼農 12－2 佐賀東
佐賀女 11－3 佐賀東
神埼農 11－2 嬉野商
〔順位〕①神埼農②佐賀女③嬉野商④佐賀東

◆沖縄▽男子準々決勝
浦添 28－8 コザ
豊見城 12－11 前原
首里 26－5 普天間
那覇工 19－17 興南
▽同準決勝
浦添 22－10 豊見城
首里 18－12 那覇工
▽同決勝
首里 13（0－0 1－0 0－0 2－2 4－4 6－6）12 浦添
▽同女子準々決勝
浦添商 19－6 コザ
前原 15－6 豊見城
浦添 18－1 宜野
興南 13－9 首里
▽同準決勝
前原 9－8 浦添商
浦添 6－5 興南
▽同決勝
前原 10（3－4 7－5）9 浦添

◆宮崎▽男子準々決勝
小林工 29－9 日向工
日南工 12－10 延岡
泉ヶ丘 28－7 宮崎工
宮崎一 15－14 宮崎西
▽同準決勝
小林工 31－13 日南工
泉ヶ丘 14－11 宮崎一
▽同決勝
小林工 16（13－9 3－5）14 泉ヶ丘
▽女子準々決勝
小林商 21－3 本荘
妻 10－8 宮崎南
延岡 10－8 日南振徳
西都商 10－5 都城商
▽同準決勝
小林商 13－4 妻
西都商 13－6 延岡
▽同決勝
小林商 11（6－2 5－4）6 西都商

◆鹿児島▽男子決勝リーグ
鹿児島工 16－11 財部
笠沙 19－10 隼人工
鹿児島工 22－10 隼人工
財部 13－10 笠沙
鹿児島工 18－14 笠沙
財部 17－14 隼人工
〔順位〕①鹿児島工②財部③笠沙④隼人工
▽女子決勝リーグ
国分実 6－5 牧園
純心 8－5 財部
国分実 16－7 財部
純心 6－5 牧園
国分実 9－3 純心
牧園 12－4 財部
〔順位〕①国分実業②純心③牧園④財部

◆熊本▽男子準々決勝
マリスト 28－16 大矢野
済々黌 22－12 熊本市立
牛深 12－11 天草
宇土 11－7 熊本市商
▽同準決勝
マリスト 14－13 済々黌
宇土 17－13 牛深
▽同決勝
マリスト 26（14－7 12－4）11 宇土
▽女子準々決勝
熊本女商 18－4 天草
松橋 18－3 松島商
氷川 22－3 人吉
熊本市立 17－2 宇土
▽同準決勝
熊本女商 12－4 松橋
熊本市立 17－5 氷川
▽同決勝
熊本女商 9（3－2 6－1）3 熊本市立

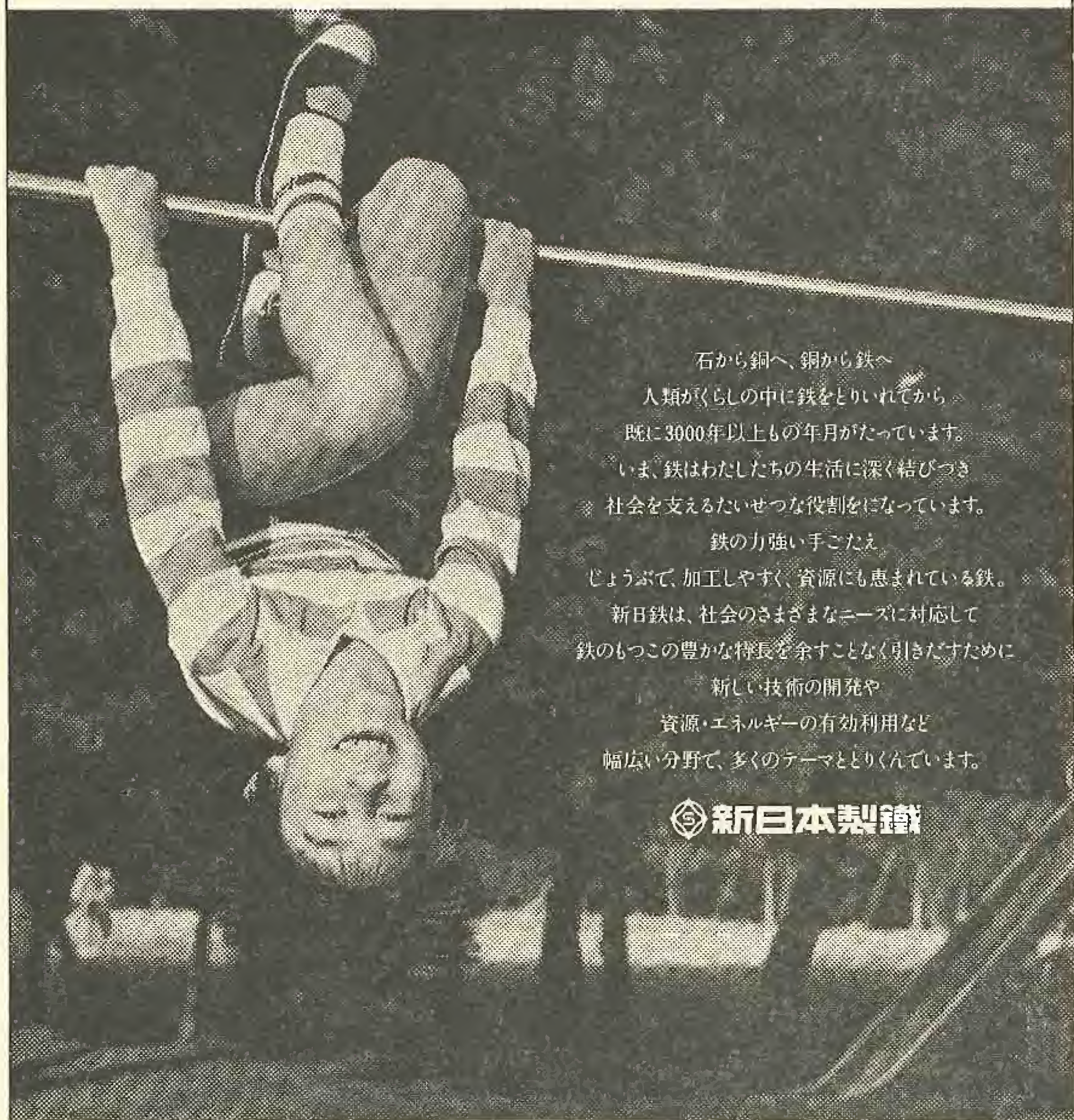
この記録は本誌「各地の記録」欄あて送られた原稿のうち、全日本高校選手権予選関係をまとめたものです。田代

特殊鋼鋼材／特殊鋼成品／みがき特殊帯鋼／焼入鋼帯／鍛鋼品／型鍛造品／鋳鋼品／工業炉　環境改善装置／省力装置／板金・溶接品

大同特殊鋼

本社：名古屋市中区錦一丁目11－18（興銀ビル）
電話〈052〉201－5111（大代表）
支社：東京　支店：大阪　営業所：福岡、札幌、広島、新潟
海外事務所：ニューヨーク

鉄はともだち


石から銅へ、銅から鉄へ
人類がくらしの中に鉄をとりいれてから
既に3000年以上もの年月がたっています。
いま、鉄はわたしたちの生活に深く結びつき
社会を支えるたいせつな役割をになっています。
鉄の力強い手ごたえ
じょうぶで、加工しやすく、資源にも恵まれている鉄。
新日鉄は、社会のさまざまなニーズに対応して
鉄のもつこの豊かな特長を余すことなく引きだすために
新しい技術の開発や
資源・エネルギーの有効利用など
幅広い分野で、多くのテーマととりくんでいます。
新日本製鐵

大阪イーグルス、圧倒の9連覇

第22回（女子第7回）全日本教職員選手権大会は8月8日から12日まで栃木市平井町の国学院栃木高球技場を中心に男女合わせて30都府県から44チーム（男37，女7）が参加して行われた。

男子は，日本リーグ所属の大阪イーグルスが圧倒的な強味をみせて健闘する各県チームを撃破，9連覇，通算15度目の優勝を飾った。

女子は地元栃木が神奈川と初優勝を争い前半の大量リードで快勝した。

全日本教職員．女子は地元栃木が初

▽男子1回戦

神奈川県教員団 22（13－8，9－10）18 岡山教員

群馬教員 32（16－8，16－8）16 新潟教員

福井教員 30（20－12，10－3）15 島根教員

山梨教員 26（16－8，10－9）17 滋賀教員

鵜鷺会（大阪）33（16－10，17－7）17 長野教員

▽同2回戦

大阪イーグルス 28（17－3，11－6）9 神奈川教員団

佐賀教員 22（15－9，7－8）17 福島教員

香川教員 23（13－8，10－10）18 東京教員

愛知教員 23（9－13，14－9）22 群馬教員

千葉教員 20（11－11，9－2）13 大阪教員ク

岩手教員ク 29（13－12，16－7）19 山口県教員団B

埼玉教員ク 19（10－5，9－8）13 A・T・F（愛知）

スワロー兵庫（兵庫）25（12－8，13－6）14 福井教員

熊本教員 33（22－5，11－10）15 山梨教員

富山教員 24（10－8，14－7）15 大阪教員クB

栃の葉ク（栃木）31（18－10，13－9）19 三重教員

静岡県教員団 25（13－9，13－9）18 奈良教員

宮崎教員 24（13－9，11－8）17 山口県教員団

岐阜教員 37（30－3，17－6）9 千葉教職員ク

愛知教員B 26（12－7，14－6）13 京都教員

茨城コンドルズ 27（4－3，1－0，13－13，10－10）25 鵜鷺会

○…茨城×鵜鷺戦は、茨城が後半8分18－12とリードした時は、前半の大接戦から脱け出たとみえたが、若さが武器の鵜鷺は、そのあと一気に6ゴール、あっという間に同点としたばかりか、17分には20－19と逆転に成功。

茨城も、すぐ気をとりなおし、残り1分22－21と再先行、逃げ切りなるものと思われたが、鵜鷺は残り43秒同点、延長にもつれこんだ。延長後は、茨城が池田、中村の巧技で先手をとり、粘る鵜鷺をやっとの思いで振り切った。

香川×東京は、香川が後半立ちあがりに奪った3点にモノを云わせ快勝、愛知×群馬は、残り4分19－23と劣勢の群馬が3点をあげ追いこんだが、惜しくも時間切れ

埼玉×ATFは、前半のせり合いから、後半、埼玉が一気の加点でペースを奪った。

熊本×山梨は、前半のシーソーゲームがウソのように、後半は熊本の一方勝ち。

佐賀×福島は、後半5分まで福島が先手をとったが、佐賀の反撃が奏効、鮮やかな逆転となった。

香川、惜しくも逆転負け

▽同3回戦

大阪イーグルス 31（21－5，10－7）13 佐賀教員

愛知教員 26（15－9，11－16）25 香川教員

千葉教員 26（12－11，14－4）15 岩手教員

スワロー兵庫 26（16－6，10－7）13 埼玉教員ク

富山教員 18（1－0，2－1，6－7，9－8）16 熊本教員

栃の葉ク 17（8－9，9－7）16 静岡県教員団

宮崎教員 17（11－6，6－8）14 岐阜教員

茨城コンドルズ 17（8－8，9－7）15 愛知教員B

○…富山×熊本は、後半なかばから先行した熊本が、残り1分を切って富山に追いつかれた。

延長後、1－1（16－16）から富山は高林の連続ゴールで勝利を握った。

栃の葉×静岡は、静岡が持ち駒不足ながら頑張り6度タイの激戦になったが、栃の葉はタイムアップ寸前、PTを得て中山が決め、辛くも勝ち進んだ。

宮崎×岐阜は、後半9分岐阜が12－6と引き離したが、宮崎は捨てず、石原口、田村で猛反撃、16分ついに12－12とし、残り5分からは、疲れのみえた岐阜陣になだれこんで、勝利をもぎとった。

茨城×愛知Bは、後半10分12－12と予断を許さなかったが、そのあと、愛知にミスが目立ち、茨城のつけこみを許した。

愛知×香川は、香川が前半14分10－4、後半5分18－13と好調だったが、愛知もあきらめず、駒田が一人12点をあげる活躍などで挽回、後半なかばからは、逆に先行して勝った。

▽同準決勝

大阪イーグルス 21（9－7，12－1）8 愛知教員

スワロー兵庫 19（7－7，12－7）14 千葉教員

栃の葉ク 19（8－6，11－6）12 富山教員

茨城コンドルズ 21（3－0，1－3，7－8，10－9）20 宮崎教員

○…大阪×愛知は、大阪が立ちあがりから連続にゴールという一方的な展開。愛知は、後半わずかに反撃したが、とても及ばなかった。兵庫×千葉は、千葉先行で始められたが、兵庫は、前半15分すぎからエンジンがかかり、後半開始と同時にあげた4点で16－7、勝負を決めた。

栃の葉×富山は、栃の葉が18分6－5のあと4点を奪ってペースをつかんだ。富山は後半いちど2点差まで追いあげたが、そこまでで終った。茨城×宮崎は、茨城が延長後半18－20から驚異的な粘りで3点連取、逆転した。宮崎は悔やみ切れまい。

スワロー、前半の健闘実らず

▽同準決勝

大阪イーグルス 17（8−8 9−4）13 スワロー兵庫

	【兵庫】	得
GK	松野	0
FP	馬場	0
	岸本	1
	工藤	2
	黒田	0
	中村	1
	松岡	3
	藤田	2
	阪本	1
	浜田	2
	岡辺	0

	【大阪】	得
GK	本田	0
FP	高橋	5
	足羽	0
	大西	4
	橋本	1
	河原崎	0
	早川	1
	福井	2
	辻本	4

（審・阿部 浜野）

17（1）PT（1）13

○…両チームGKの好守とディフェンスのよさで、相手のプレーを早目々々につぶすという内容のある応酬で試合が進んだ。

それに対する攻めも、お互いに多彩が好試合となり、前半は、わずかに兵庫が押して、残り5分8−6とした。

しかし、大阪は巧みにチャンスをつかんで同点に追いつき、後半3分高橋で9−8としたプレーを活かして、主導権を奪い返した。

兵庫は、前半に比べて、単調なカットインが多く、大阪は、その芽をつんでは、一気の逆速攻、15分15−10と開いたあたりは、さすが日本リーグ所属チームだ。

兵庫は、前半健闘していただけに、後半の一本調子が惜しまれる（千野恒夫）

☆ベストセブン

・GK 本田 洋（大阪イ）
・FP 福井 稔（大阪イ）
大西和雄（大阪イ）
中山富夫（栃の葉）
松岡 猛（スワ兵）
中村博之（茨城コ）
船木浩久（宮崎教）

栃の葉ク 18（9−8 9−9）17 茨城コンドルズ

	【茨城】	得
GK	大村	0
FP	中村	2
	塚田	1
	高野	1
	大川	0
	福永	2
	中山	0
	谷萩	0
	根本	8
	大西	3

	【栃葉】	得
GK	高橋	0
FP	山下	0
	川田	3
	小西	1
	越前	0
	河先	0
	伊藤	2
	中山	13
	山本	0
	大出	0
	二宮	0

（審・斉藤 千野）

18（5）PT（4）17

▽同3位決定戦

スワロー兵庫 37（14−5 13−9）14 茨城コンドルズ

○…栃の葉は、残り4分15−17と苦しかったが、よく粘って残り30秒同点、さらにノータイム寸前PTを得て、これを中山が決め、劇的なサヨナラ勝ちを演じた。

茨城は、栃の葉の甘いディフェンスをついて、立ちあがりから押し気味、特に後半10分13−10とした時は、そのままのペースで突き進めるとみられた。

結果的には、最後まで勝負を捨てなかった栃の葉の粘り勝ちだが茨城は、残り4分2点差をつけて油断したのが、祟った。

イーグルス、余裕のぞかす

▽同決勝

大阪イーグルス 38（10−8 18−7）15 栃の葉ク

	【栃葉】	得
GK	高橋	0
FP	川田	0
	中島	0
	小西	4
	越前	1
	河先	1
	伊藤	0
	中山	8
	山本	0
	大出	1
	二宮	0

	【大阪】	得
GK	本田	0
FP	高橋	2
	足羽	1
	大西	10
	橋本	3
	河原崎	1
	早川	0
	福井	5
	辻本	6

（審・千野 斉藤）

38（1）PT（4）15

○…前半は「GKのうまい試合は面白い」という定評どおりの展開。

本田（大）、高橋（栃）の両GKが美技を応酬させて、白熱した。

しかし、福井、辻本（全日本）をもつ大阪の攻め口に一日の長がのぞき、20分7−5と2点差がついて、栃の葉に重くのしかかった。

後半、栃の葉が、早い時間で、1点差にすれば、と期待させたのだが、巧者を揃えた大阪は、その策戦を封じるかのように、1分大西で11−8、さらに5分すぎからのたたみかけで、15分には18−10と大差をつけた。

このあたり、大阪の巧さは相変らずで、ついに9連覇の偉業。同一全国大会の連勝記録、大崎電気が全日本実業団でマークした10連覇に迫ることとなった。

大阪、神奈川に敗れる

▽女子1回戦（＝準々決勝）

大阪教員女子 19（6−6 13−7）13 白小鳩（埼玉）

神奈川教員団 棄権 風見鶏ク（兵庫）

桜球会（富山）17（8−2 9−5）7 茨城教員

栃木女子教員 21（10−2 11−7）9 愛知教員

▽同準決勝

神奈川教員団 15（6−7 9−2）9 大阪教員女子

	【大阪】	得
GK	片山	0
FP	秦	1
	森内	0
	南山	1
	名賀	2
	小森園	5
	太田	0
	津熊	0

	【神奈】	得
GK	和田	0
GK	熊谷	0
FP	小林	3
	林	4
	菅野	0
	青木	0
	比嘉	2
	藤井	3
	三井	0
	鈴木	3

（審・島田 後藤）

15（1）PT（1）9

栃木女子教員 23（11−4 13−1）5 桜球会

	【桜球】	得
GK	堀田	0
FP	田嶋	0
	寺脇	1
	豊本	0
	青木	0
	林	0
	嶋田	4

	【栃木】	得
GK	長谷川	0
GK	大森	0
FP	金山	0
	山田	4
	河先	1
	坂本	7
	野部	0
	安生	0
	中村	0
	猿山	2
	森戸	9

（審・槇田 三枝）

23（4）PT（1）5

○…3連勝を狙っていた大阪が神奈川に逆転負けした。

大阪は前半小森園（旧姓畑中）の巧技を軸に、10分5−2とするなど好テンポだった。神奈川は、前半終了間際、小林の連続ゴールで6−7としたのが大きく、後半は、自信たっぷりに攻め、10分鈴木で初のリード、15分すぎからはGK和田（モントリオール五輪代表、元立石電機）の好守を後立てにして速攻を連続させ、みごとな勝ちっぷりだった。

▽同3位決定戦

大阪教員女子 10（4−4 6−4）8 桜球会

栃木、前半に9点差

▽同決勝

栃木女子教員 17（10−1 7−7）8 神奈川教員団

	【神奈】	得
GK	和田	0
GK	熊谷	0
FP	小林	0
	林	4
	菅野	0
	青木	0
	比嘉	0
	藤井	3
	三井	1
	鈴木	0
	宮崎	0

	【栃木】	得
GK	長谷川	0
GK	大森	0
FP	金山	1
	山田	4
	河先	0
	坂本	4
	野部	2
	安生	0
	中村	0
	猿山	0
	森戸	

（審・後藤 島田）

17（2）PT（4）8

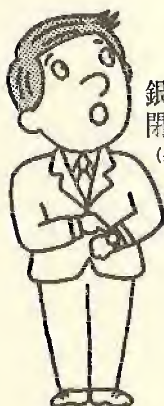
○…栃木は開始1分森戸のみごとなステップシュートで先制、一気に勢いづいて連続10ゴールをあげるという予想外の展開をみせた。

こうなっては、すでに勝負はついたようなもの、神奈川は、後半なんとか点差を詰めようとするが栃木は、すっかり余裕をもち、10分14−3、決勝にしては盛り上りのないまま、試合終了となった。（三枝慶彦）


給与の
お引き出しに…


出張に…


ショッピングに…


銀行が
閉まった後で…
(ダイワの外壁や DC コーナー)


旅行に…


ふいの出費に…

こんなとき便利な ダイワ キャッシュカード。



日常のお引き出しに…
カード1枚で現金自動支払機から手軽に現金が引き出せます。通帳もハンコもいりません。サイフがわりにご利用を…。

時間外のお引き出しに…
ダイワの外壁に面したキャッシュコーナーでは、平日午前8:45～午後6:00(土曜日は午前9:00～午後2:00)まで、また DC マークのコーナーでは、平日午後5時、土曜午後2時まで現金が引き出せます。

ご出張やお買物の折に…
お出かけ先で現金がご入用になったときダイワの全店にあるキャッシュコーナーや DC マークのコーナーがお役に立ちます。

給与のお引き出しに…
給与振込制をご採用の場合は、お給料日の朝からカードを使って引き出せます。奥さまもご自宅近くのダイワでどうぞ…。

ダイワキャッシュカードは総合口座(普通預金)をご利用の方におつくりしています。お気軽にお申込みください。

あなたと明日を
預金も
信託も…
大和銀行

DC マークのコーナーでは設置場所により、お取扱い時間が異なる場合があります。
また、日・祝日および設置場所の休業日はお取扱いしません。

日本協会加盟団体リポート

全日本教職員連盟

【全日本教職員ハンドボール大会研究発表報告】昭和54年度標記研究発表会は、去る8月7日、第22回全日本教職員ハンドボール選手権大会開催の前日、栃木市国学院栃木高等学校特別教室で行なわれた。

研究発表も、回を重ねるにつれハンドボール学会的な雰囲気が感ぜられるものとなってきたようだ。つまり、過去のハンドボールに関する研究発表は、現在行なわれているハンドボール競技に関しての問題点の究明、考案が主となっていたのではないかと思われたが今回その基盤である発生からの歴史の考察が加えられ、ハンドボール全般の広範囲なものへと発展したからである。

以下その発表内容について述べることにする。

■第一部　歴史部門

▽創世期におけるドイツハンドボール競技の発展史

山梨　水上　一

▽大谷武一氏とハンドボール

茨城　大西　武三

水上氏は、ドイツの文献から、その創世期を探り出そうとしたものであり、現在日本で紹介されている女子体位の向上について「新しく創り出されたスポーツの位置づけのために用いられた政治的な配慮であった」と印象深い内容であった。

大西氏は、日本に於るハンドボールを、紹介者の大谷氏の人となりから、ハンドボールを学校体育の初の球技としてとりいれた大谷先生のハンドボール観を、各種文献から発表された。

両氏の深い学識は、参会者から絶賛を浴びた。

■第二部　学校体育ハンドボール部門

▽こどもハンドボール教室

神奈川　松本　正昭

▽ハンドボールの学習効果

埼玉　高橋　健夫

松本氏は、小学生ハンドボール教室の実践報告と、その定着化について簡易ルールとゴール等の苦心談について、ともすると見過しがちな中学校・高校・大学指導者たちに小学校の立場を充分理解させてくれるものであった。

高橋氏は連盟の立場から、日常どこにでも研究発表資料をとりあげうるという研究発表のPRもかね、大学一般体育の同構成の学生によるハンドボールとバスケットボールのゲーム得点の比較によりハンドボールの学習効果をあげ、学校体育でのハンドボールの良さを強調した。

■第三部　競技ハンドボール部門

▽西ドイツ男子ナショナルチームの戦術と全日本の今後

埼玉　中村　弘司

▽ハンドボールの防御について

千葉　氷海　正行

（高橋健夫）

全日本学生連盟

恒例の全日本学生選抜東西対抗（男子第29回、女子第11回）を、9月15日午前11時から名古屋市体育館で行ないます。

今年度から、新たに女子ジュニア部門を設けることになり、男女同ジュニアと4試合に熱戦を繰りひろげます。

関東、関西両学連から発表された両軍オールスターズのメンバーは次の通り。（選手名上の○印はナショナルプレイヤー、□印はジュニア・ナショナル）

☆…東　軍…☆

▽男子・監督　一宮昌平（日体大監督）・マネ　荒川洋一（日体）・GK加藤（慶応）、○井藤（日体）・FP○松井、長野、名嘉、坂本、岩木、溝部（以上日体）、○仲田、○山口哲（以上日大）、○滝口（筑波）、武藤（早稲田）、宮本（金沢工大）、弓場（東北学院）、嶋田（北大）

▽男子ジュニア　新井田司（日大コーチ）・マネ　田畑彰（国士館）・GK□矢内（国士館）、中村（日体）・FP○猪野、○田口、□尾上（以上中央）、□佐々木、□三浦力、□寺山（以上日体）、田畑、小山（以上早稲田）、○西山（筑波）井上（金沢工大）、鎌田（福島大）、三浦孝（室蘭工大）、浅井（小樽商大）

▽女子・監督　高野亮（東女体大監督）・マネ　蛯谷克子（東女体）・GK稲葉（日体）、高松（東女体）・FP磯山、川波、酒井、□藤本、浜村、□坂本（以上東女体）矢野、鈴木（以上日体）、江畑（日女体）、藤岡（筑波）

▽女子ジュニア・監督　坂村紀子（日体コーチ）・マネ　藤本昌美（日体）・GK□藤井（日体）、伏見（筑波）・FP□石井、□大崎、加藤、後藤（以上日体）、岩本、小林（以上筑波）、伊藤、鈴木（以上東女体）、下山（日女体）

☆…西　軍…☆

▽男子・監督　宍倉保雄（大体大監督）・マネ　吉田敏明（経大）・GK中尾（大経大）、上村（中京）・FP小林、井上、砂川、安田、亀井、金子（以上大体大）、玉井、中村（以上名城）、覚間（大経大）、粟尾（同志社）、曽見（中京）、松浦（山口大）、宮田（福岡教大）

▽男子ジュニア・監督　福井孝明（関西学）・マネ　森栄治（関大）・GK□山下（京産大）、□蓑輪（名城）、・FP高野、御牧、中野（以上大経大）、立木、古橋（以上名城）、坂本、草島（以上久留米工大）、□田野（京産大）、宮本（近大）、熊谷（中京）、中村（山口大）、島川（広島大）、柏原（福岡大）

▽女子・監督　樫塚正一（武庫川女大監督）・マネ　日下部豊子・GK柴田（大体大）、宮崎（武庫川女）・FP木下、坂本、吹田、沢村、清水（以上武庫川女）福田、浅井、田辺（以上大体大）、野々宮、木野村（以上中京女大）、永井（中京）、足立（岐阜大）、小川（山口大）。女子ジュニア未発表。

パルパル エブリボディ。



5タイプそろったホンダのパルシリーズ。乗りやすさは共通。お好きなタイプが選べます。

ロードパルの仲間たちが、たくさん走りはじめています。あの道、この道が、急にバラエティ豊かになりました。スタイルいろいろ。色とりどり。乗る人の個性と、パルの個性が…なぜかぴったり合うのです。5タイプそろったパルのうち、あなたのお気に入りはどれですか。もちろん、やさしさ・乗りやすさは、みんなおなじ。気軽にどこかへ散歩、としゃれてみたくなります。

パルはユニーク。新しい仲間も、個性たっぷり。●パルフレイ：エレガントなデザイン。乗り降りのラクなU字フレーム(車体中央)。泥ハネから足もとを守るレッグシールドなど親切設計が特長。●パルホリデー：ユニークなヒップアップ・シート。しゃれた感覚のバーハンドル。タウンで似合うバイクです。●パルディン：スリムなパイプフレーム、イキなクロームメッキ・フェンダーがナウな感じ。

ごぞんじですね。ラッタッタ。	
ロードパル	標準現金価格 ¥59,800
クイックスタート、とってもべんり。	
ロードパル・L	標準現金価格 ¥64,800
乗るかたへの心くばりがいっぱい。	
パルフレイ	標準現金価格 ¥75,000
しゃれたスタイル、タウンで似合う。	
パルホリデー	標準現金価格 ¥79,000
ヤングの感覚、ナウなフィーリング。	
パルディン	標準現金価格 ¥79,000

ヘルメットをかぶろう HONDA

「私のパル」を持ちましょう。

パルスクール 原付免許の取り方だけでなく、正しい乗り方指導までも実施しているのが「パルスクール」の大きな特長。ていねいにご指導しています。



わずかな頭金とかんたんな手続きでお求めいただけます。お支払い方法は、ご予算にあわせていろいろ。クレジットカードはいりません。

★パルスクールとクレジットの詳細は、ホンダ販売店でどうぞ。

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所

●〒513●三重県鈴鹿市平田町1907●TEL鈴鹿0593：78－1212〈代表〉

—日本協会ニュース—

54年度日本協会登録集計終わる

今年度6月末日現在の登録数が集計された。

それによると、チーム総登録数は二、五九六、登録競技者総数は四四、七八三名と、いずれも、前年度より上廻っているが、チーム数の伸びは、高校男女で64プラスを示しながら、一般の落ちこみから、総数で僅かに40をマークしただけ、最近10年間で、もっとも低い数字に終った。

ミュンヘン・オリンピック以降着実に三桁の伸びを示していたチーム数が、昨年度、わずかに100に及ばず、今年度の盛り返しが期待されたが、さらに低下してしまい今後の発展に不安を抱かす。

最大因は、一般男子Bが、前年比マイナス36をはじき出したことで、51年度に200台を突破した一般男子Bは、このままいくと、来年度は、その50%減になりかねない。

一般Bは、男女とも、競技人口確保を主眼において設けられた種別だが、近年、その設置主旨がうすれて財源視されたことが、大きな理由と思われ、再検討が望まれよう。

このため、今年度、高校チームの占める割合は、73・2%となった。これは、最近では47年度の76・3%に次ぐ高率だ。

高校界も、伸び率は、やや鈍化しており、男女計二千校突破は、来年以降に持ちこされた。

女子が、一千校台にのしあがるのも、このペースだと、最低あと10年はかかる勘定である。

日本協会各専門委員会では、今回の数字をベースに、対策をこうじることになろうが、競技人口はあらゆる面で、「ハンドボール」を測られるバロメーターとされるだけに、51年以降の下降現象は、早急な歯止めがせまられる。

なお、全国中体連がこのほど発表した「53年度競技別全国中体連加盟校数」によると、ハンドボールは、男子が752校、女子が655校、52年度比で男子は58、女子は177校の増になっている。

最近5年間日本協会チーム登録数

	総数(前年比)	一般A 男	一般A 女	同B 男	同B 女	学生 男女計	高専	高校 男	高校 女
50年度	2213 (185)	275	46	156	22	135	24	933	621
51年度	2362 (149)	272	48	210	25	154	25	971	651
52年度	2463 (101)	264	67	158	29	177	27	1039	702
53年度	2556 (93)	257	74	153	31	171	29	1077	764
54年度	2596 (40)	266	71	117	27	186	27	1114	788
(参考)40年度	1061	うち 高校男女計 739							

・50年度一般Bは当時「一般C」と呼称



この看板のお店でご相談ください。

滋養強壮・虚弱体質に

●にんにく抽出エキス・ビタミンB₁・肝臓分解エキス・ビタミンB₂配製剤

キヨーレオピン

●朝鮮人参・麝香・牛黄・ビタミンB₁・にんにく抽出エキス製剤

レオピンファイブ

週に一度はスポーツを



健康づくりは毎日の快眠・快食から…
それに適度なスポーツも欠かせません。
私達は皆様の健康を願って
薬品づくりに努めます。

湧永薬品株式会社

ワクナガ 本　社 〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号 TEL.(06)458-8901

中央研究所 広島工場 〒729-64 広島県高田郡甲田町大字下甲立1624 TEL.(082645)2331

テーマは「人間と機械」

「機械にできることは機械にまかせ、人間はより創造的な分野での活動を楽しむべきである」……
これが立石電機のモットーです。


技術の原点オートメーション機能部品


産業用無人化システム


都市の交通制御システム


鉄道の駅務自動化システム


銀行の窓口省力化システム


ガソリン・スタンドのPOSシステム


オフィスのコンピューター・システム


小売店頭の電子レジスター



立石電機

立石電機株式会社／本社
〒616 京都市右京区花園土堂町10
TEL 075(463)1161大代

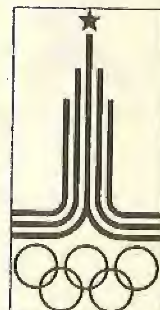
日本が生んだ世界のボール

タチカラミムレスボール

日本ハンドボール協会検定球



東京・メキシコ・モントリオール・モスクワと、いつのオリンピック大会でもバレー、バスケット等、世界で唯一社の公式試合球に指定されているタチカラの輝かしい実績は、世界に誇る日本のボールメーカーです。
ハンドボールの歴史と共に縫ボールの時代からボール一筋に手がけて来たタチカラのハンドボールは一味違う中空製法です。(チューブが離てる)



JOC-MS-4-77-3



タチカラ株式会社

営業所　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

日本協会専門委員会だより

強化

【プレ・オリンピック報告】プレ・オリンピック（7月19日～8月3日）のハンドボール競技は、他競技と異なり、本番会場（モスクワ・ディナモスポーツパレス、ソユルニキスポーツパレス）を使用せず、キエフ市で行なわれたため、選手村―会場間の便や、会場そのものの施設などを、視察することはできなかった。

しかし、コンディション面では、おおいに参考となることがあり、特に朝夕の冷えこみ日中でも20度前後という気温は「初夏というより、初秋」と考えるべきで、日本チームはこの点の備えが、必要であろう。また、白夜のため、「夜」が極めて短かく、睡眠時間になれる間は、影響が出そうだ。

食事は、肉食が多いのは、ミュンヘン、モントリオールと同じだが、フルーツ、野菜類が非常に不足しているのは気がかりだ。

時差、白夜のことを考えると、モスクワ入りする時期がこれまで以上に、難しいと思う。

競技は、当初伝えられた参加国の顔ぶれから、かなり変更があり、男子の招待チームはルーマニア、ブルガリアの2カ国だけ、女子もユーゴ、ブルガリア、スウェーデン、ノルウェーの参加にとどまった。

男女ともに12チームを6チームづつ2組の予選リーグのあと、同位で順位決定戦という競技方法だったから、ソ連国内のチームが、男子10、女子8チーム出場したわけで、プレ・オリというより、ソ連のビッグイベント「スパルタキアード」の国際化といったほうが適当なのは、他競技と同じである。

男子では、ルーマニアが、すっかりメンバーを若返らせ、平均年令23・8才、同身長192cmというチームを送りこんで来ていた。

ルーマニアは5位、ブルガリアは8位。優勝したモスクワ市は、MAI、チェスカ両強豪クラブの混成で、ソ連ナショナルともいうべき布陣、順当の優勝だった。

女子は、強豪スパルタ・キエフ主体のウクライナが、ユーゴ以下に完勝、ソ連の強さを見せつけた。

▽男子決勝

モスクワ市 30（17—14、13—13）27 ウクライナ共和国

▽女子決勝

ウクライナ共和国 23（12—6、11—4）10 リトアニア共和国

（竹野奉昭）

外国協会からの招待が相次いでいます。

一九七九年9月現在、4カ国の協会から日本協会に招待状が送られてきています。

参加希望チームは、日本協会まで連絡下さい。

現在わかっている招待日時等の条件は、以下の通りです。

◇

■第8回インテラムニアカップ

▽日時：1980年7月4日～8日まで
▽場所：テラモ（イタリア）
▽対象チーム（前回19カ国参加）：ユースチーム　一チーム　男子又は女子チーム
▽条件：滞在費のみインテラムニア負担

（注）このトーナメントには、毎回台湾が参加、好成績をあげている。

■中正ワールドカップ・1980

▽主催：台湾ハンドボール協会
▽月日：1980年4月10日～16日
▽場所：台湾（台北）
▽対象：1961年生れの男女ナショナル又は単独（混成も可）の少年チーム
▽条件：海外航空旅費は参加国負担・滞在費は開催国負担
▽エントリー期限：1979年12月31日

■スイス協会からの招待

▽対象：成年男子チーム
▽月日：1979年11月30日～12月1日
12月12日～12月22日
：1980年
2月29日～3月1日
3月28日～3月29日

右の日時のうちいずれかで、その他の条件等は不明。

■ニューカレドニア（南太平洋）からの招待

▽招待：フランス協会及びニューカレドニアリーグ
▽対象：クラブチーム　一又は二
▽月日：希望する月日に8～10日間
▽条件：現在のところ不明

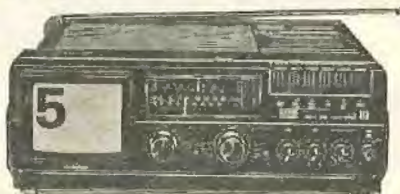
◇

国際トーナメントの招待状が最近、目立って増えているのは各国とも、その参加チームを、ヨーロッパに限らず、世界全域に呼びかけようとする傾向が強まっていること、日本のハンドボール界への関心が高まっていること、ユース（青少年）クラスの新設トーナメントが多いこと、などがあげられよう。なお、ソ連から、9月の女子国際大会への誘いがあったが、日程で折り合わなかった

総務

うちのエース、背番号50。

基本に忠実な選手ほど、臨機応変に動けるものです。基本性能に優れたメカがフォーメーションを組んだ、ビクターのカラカセ50。〈見る・聞く・録る〉を一台でやってのけるマルチプレーヤー。カラーになった1機3役メカです。



カラーテレビ・ラジオ・カセッター
カラカセ50
CX-50 標準価格110,000円（アンテナ・工事費別）

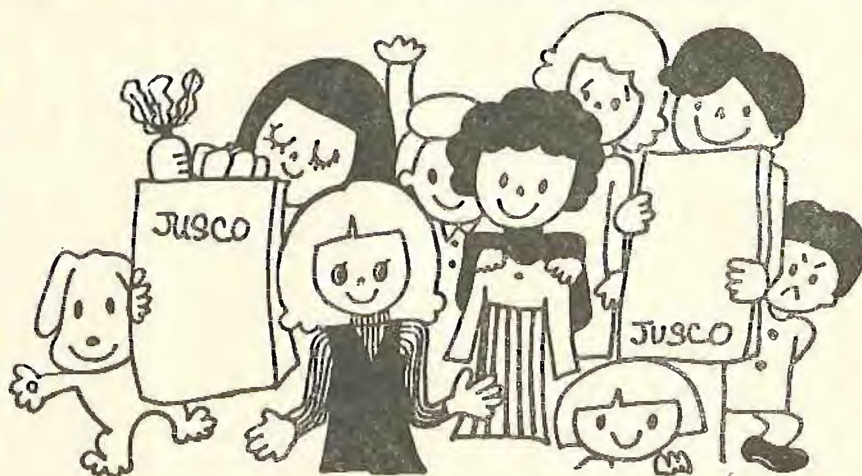
●ビクターへのお問い合わせ、カタログ請求は(〒100)東京都千代田区霞が関3-2-4霞山ビル 日本ビクター(株)インフォーメーション・センター〈TEL東京 03-580-2861〉へ　●あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Victor JVC
日本ビクター株式会社



ジャスコ誕生10周年記念　おかげさまで10周年

暮らしへの奉仕を合言葉に。



ジャスコ

東京本社 東京都千代田区神田錦町1－1
大阪本社 大阪市福島区大開1－8－8

THE BEST PARTNER FOR EVERY SPORTSMAN BEAR 1979

補強万全。

ハンドベアー。革十ミシンステッチの威力！



ハンドベアーの補強は4つの革と幾重にも縫いこまれたミシンステッチ。
ツマ先を守るフロントプロテクター、踵を守るリアプロテクター、左右を守るサイドプロテクター等、どのポジションの足にも耐えられるこれらの補強は、アッパーを守るだけでなく型くずれ防止にもなっています。そして、二重のスポンジクッションとフットワークのロスを解消するモールド底と共に軽快な足沿いを約束しハードな動きに対する足への保護はまさに万全です。

HAND BEAR

●サイズ/22.5～29 ●カラー/ブルー×白ライン ●￥3,500



BEAR

ベアー株式会社

池上金治さんを偲ぶ

的場益雄
（全日本教職員連盟副会長）

君は、例年にない熱帯夜の続く去る六月二十七日心不全で突然帰らぬ人となってしまった。思えば君を知ったのは昭和十二年の春日本でハンドボール大会が初めて挙行された頃であるから、凡そ四十数年間の交際であった。君は当時日本体育専門学校（現日体大）の教師であった。そして君は当時集団体操の指揮者としても第一線で活躍していた。ハンドボールが縁で君を知ったのであるが、当時は手球と言っていた時代である。手球という言葉は、あまり耳ひびきがよくないという理由で送球と改められた。君は第一回関東送球選手権大会に日体チームを優勝に導いた。君は、日体のバスケットボール・サッカー・陸上競技等の目星しい選手を集めて、他校（慶応大、明治大、文理大、青山師範（現学芸大）チームに対し、技術的にもパワーの点でも到底比べものにならぬ程の強力チームを育て上げた。君は十五年秋在住独人（ヒットラーユーゲント）との親善ハンドボール大会を開催することに成功した。また、紀元二六〇〇年記念の一つとして、東京オリンピック大会が開催されることになっていたのが、第二次大戦等のためそれが中止になり、それに代わる東亜大会が十五年に開かれた。その機を逸せず送球をその大会の一種目に加えることに成功し、君は日本チーム（日体選手）の監督として活躍した。また君は、十六年に日本におけるはじめてのハンドボールの指導書「送球競技指導書」を目黒書店から出版した。そんなわけで君は日本ハンドボール協会創設時代の役員として指導者としてその中心的役割を果したものであり、その業績を誰も疑う者はいないであろう。

私も君の送球に対する情熱とその理論と見識の人であったことを高く評価し、また、君の業績に敬意を惜しまないが、今君の冥福を祈りつつ、静かに君との交際の四十年間を顧みる時、協会の創設時代からわが青春をかけて互いに信頼のもとに協力し、苦楽を共にしながら、その普及や組織の強化につとめた他の同僚・友人（外山淮二、高嶋冽、徳永陸繁、山田計、松本重雄氏等）と同一に考えることに若干の抵抗を感ずることを告白せざるをえない。このことは、私の人間的器量の狭さに起因した感情の偏見かもしれないが許してもらいたい。

君の他界のことは某新聞の社会面の知名人の消息欄に君が元日本ハンドボール協会の会長としてのっていたが、あれは誤報である。

君は、ハンドボールに対しても、まだ心残りがあるかもしれないがどうか心安らかに眠りたまえ。

君は送球が育つかどうか全く未知の日本の原野をせっせと耕し、そして種をまいたが、それが今や日本全国津々浦々にまで普及し、又技術面にも世界の檜舞台でその技を競うほどになった。現に君の弟子が中央・地方をとわずその第一線で活躍していることを思い、心安らかに眠りたまえ。

そして草葉の蔭から、その奮闘ぶりを温く見守っていてほしい。

◇

（編集部注・日本で最初のハンドボール専門書は、池上氏の前に、昭和三年、出口林次郎氏（故人）の著した〈ハンデバール〉がある）

池上さんの活躍した時代

池上金治さんは、日本協会理事などを第二次大戦後も、つとめられ、新生ハンドボール界の発展につくされているが、やはり、もっとも活発な動きを示された時代ということになると、戦前――つまり日本協会草創期であろう。

ご承知のように、日本協会は昭和十五年に予定された東京オリンピックに備えて十三年二月に発足されたものだが当時は、ハンドボール専門のプレイヤーがいず、ラグビーサッカー、バスケットボールなどからの転向組で〝競技人口〟を保っていたにすぎない

しかし、学生リーグ（関東）の発足や、明治神宮体育大会への参加などで、しだいに専門プレイヤーが輩出されるようになり、日本協会も、競技団体としての態さいを、ととのえはじめる。

そうしたなかで、池上さんはハンドボール戦術論、技術論で最先端をゆく存在、といえた。

明治四十一年生れの池上さんは、ハンドボール競技者としては、ほとんど実績がなく体育関係者として、昭和十一年のベルリンオリンピックのハンドボール競技を見学したという話も聞かないだけに、どのようにして、ハンドボール戦術の知識を得られたか興味のあるところだが、ともかくも、昭和十六年六月には、わが国で初の本格的なハンドボール技術書ともいうべき〈送球競技指導法〉を目黒書店から、出版されるほどになっている

発足時、なんらかのかたちで日本ハンドボール界の第一線に立たれていたかたは、新しいスポーツのパイオニアとして、当然、一種の気負いのようなものもあっただろうし、池上さんはそれを技術分野での理論展開に求め、第一人者としての足跡を残されようとしたものだろう。

日本協会も、こうした池上さんの業績を評価して、十七年十一月、来日した「訪日ドイツ艦隊ハンドボールチーム」との国際試合の日本代表チームの指揮を、ゆだねている。

その将来性もさだかではハンドボールに、この時代、情熱を傾けられ、そのまま現在に至っているかたは、数多いが、池上さんは、なぜか、二十年代後半になってプツリと、日本協会と縁がなくなる。

本誌などで、充分、思い出話を聞く機会もなく他界されたのは、惜しまれてならない。

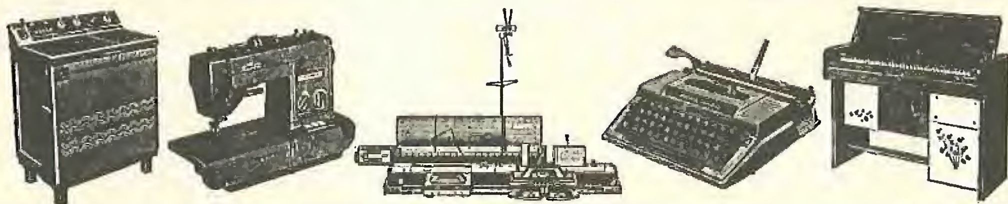


練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社



岐阜高専が初の2連勝

全国高専選手権

第6回全国高専選手権は、8月14、15日の両日大阪市中央体育館に、全国の予選を勝ち抜いた13校が集まり、トーナメント法式で行われた。

その結果、前年1位の岐阜（東海北陸A）が、今年も、秀れた攻撃力を示し、ほとんど危気ない試合運びで勝ち進み、大会史上初の2連勝を記録した。

▽1回戦

和歌山（近畿・和歌山）21（12－6、9－10）16 米子（鳥取・中国）

桐蔭学園（関東信越B・神奈川）16（9－4、7－6）11 富山（東海北陸B・富山）

鹿児島（九州・鹿児島）21（12－7、9－10）17 舞鶴（近畿・京都）

津山（中国・岡山）19（11－4、8－9）13 沼津（東海北陸A・静岡）

一関（東北・岩手）24（13－4、11－9）13 長岡（関東信越・新潟）

▽2回戦

岐阜（東海北陸A・岐阜）23（11－6、12－4）11 和歌山

鹿児島 23（11－9、12－9）18 桐蔭学園

津山 14（8－4、6－3）8 大阪府立（開催地）

一関 22（10－7、12－6）13 宇部（中国・山口）

▽準決勝

岐阜 29（13－8、16－11）19 鹿児島

【鹿児】	得		【岐　阜】	得
立山	0	GK	勅使河原	0
伊地知	0	GK	山本	0
重村	1		今井	3
山下	3		大山	0
赤崎	1		三上	11
山崎	8		熊崎	2
久保	3	FP	兼山	3
増田	1		柵橋	2
八元	0	（審・逢坂 村尾）	田中	4
神橋	1		長谷川	4
萩	1		辻出	0
松田	0		薗田	0
	（1）19	PT		29（0）

一関 24（6－6、10－10：4－0、3－3）19 津山

【津山】	得		【一関】	得
村田	0	GK	泉	0
中尾	0	GK	三浦	0
中田	3		高橋順	0
玉井	0		今出	2
山下	2		田代	2
原田	0		菊池	12
杉田	4	FP	本波	3
松永	4		千葉	2
須藤	4	（審・新村 荒川）	山崎	2
徳山	0		佐々木	1
三宅	2		高橋正	0
赤沢	0		井上	0
	（1）19	PT		24（0）

▽決勝

岐阜 26（13－9、13－10）19 一関

【一関】	得		【岐　阜】	得
泉	0	GK	勅使河原	0
三浦	0	GK	山本	0
高橋順	0		今井	2
今出	1		大山	0
田代	1		三上	11
菊池	12		熊崎	3
本波	0	FP	兼山	2
千葉	2		柵橋	0
山崎	2		田中	6
佐々木	1		長谷川	2
高橋正	0		辻出	0
井上	0		薗田	0
	（2）19	PT		26（0）

〔後記〕1回戦では、鹿児島×舞鶴が好勝負だった。先手は舞鶴がとり押し気味に試合を進めたが、鹿児島は、前半20分7－7から5点連取、一気に主導権を握った。

劣勢にまわった舞鶴は、後半、残り10分となってから、激しい追いあげをみせ、4点連取で17－19とし、なお3分を残したが、鹿児島は、ここで2点、逃げ切った。

和歌山×米子は、米子が立ち上り7分3－1としながら、そのあと加点できず、和歌山になだれこまれ、あっさり逆転されていた。

ベストエイトによる2回戦は、いずれも順当の結果に終ったが、内容的には、かなりのせりあいを見せた。

鹿児島×桐蔭は、鹿児島先行か桐蔭が、20分すぎ8－8に追いつき、面白くした。

しかし、鹿児島は、すかさず3点連取して、突き放したのがよく後半、桐蔭の粘りも空しかった。

津山×大阪は、大阪が小川の巧技で、20分5－3とした時は、ペースを握るかにみえたが、守りのもろさと、追加点をあせる攻撃の凡失から、そのあと、わずか3分間で5点を失う拙さで、津山に主導権を与えてしまった。

一関×宇部は、序盤のせりあいから、一関が菊池の攻撃力でしだいにリード。岐阜×和歌山は、岐阜が前半15分6－1、そのまま突き進んだ。

準決勝・岐阜×鹿児島は、鹿児島が、立ち上り、山下の3ゴールで5分3－0とリードを奪い、その後も、岐阜ディフェンスを巧みに切り崩して10分5－4と好ペースだったが、地力に優る岐阜は、まず、守りを固めたあと、三上、今井の鋭い攻撃力で、連続ゴール15分には8－5と、立ち場を代え後半10分すぎの連続5ゴールで完全に勝負を決めた。

一関×津山は、津山が三宅のゴールで先行の口火を切り、12分4－1、20分6－4とした。一関は前半終了間ぎわ同点としたが、後半再び津山の連続攻撃を浴び、6分9－6と津山が優勢だった。

一関も地力がある。菊池、田代の活躍で10分10－9と逆転、20分すぎの連取で16－13と勝負を手にしたかとみえたのだが、津山は、残り3分須藤、山下、杉田が連続シュートを決め、延長にもつれこんだ。しかし、一関は、ここで再び奮起、連続6点を奪って、健闘する津山を押し切った。

決勝・岐阜×一関は三上(岐)、菊池(一)両エースの財ち合いに興味が集ったが、総合力に優る岐阜が、前半10分すぎから、じわじわと点差を開きはじめた。

勝負は、後半開始の5分間で、岐阜は田中、今井、三上とたたみかけ16－9、一関は菊池がマークされ、勝機をつかめなかった。

★年次優勝校

① （昭49） 宇部高専（山口）
② 大阪府立高専
③ 一関高専（岩手）
④ 津山高専（岡山）
⑤ 岐阜高専（岐阜）
⑥ 岐阜高専（岐阜）

東女体大が初の栄冠

第1回東日本学生選手権女子の部は、8月25、26の2日間、東京深沢の日体大体育館に関東学連の4校が参加、トーナメントで行われ、東女体大が初優勝した。この大会は当初、男子と同時に、9月札幌で行われる予定だった。

▽1回戦

日体 15（6－8、9－6）14 日女体

東女体 27（14－4、13－5）9 筑波大

▽同決勝

東女体 16（9－8、7－7）15 日体

報告 ②

IHF・レフェリーとコーチシンポジューム

安藤純光
（日本協会常務理事）

今回は、シンポジュームの冒頭に行なわれたIHF/RSK委員長カール E・ヴァンの「競技規則を新らたに改訂するに当って寄与する考え方の諸点」と題する講演のあらましを報告する。

【I】 前提

長期にわたり国際ハンドボール連盟（IHF）の諸委員会において討議を続け、これらの討議を経て得た結論をさらにIHF/RAT（評議会）および1974年と1976年の総会の同意を得て、ハンドボール競技規則は4年間変えるべきではないということが決定されている。

このことは実際には、オリンピックの周期（4年）の間では競技規則を変更すべきではないということを意味するものである。

この原則の根拠は、比較的新らしい世界的なスポーツであるハンドボール競技の着実な発展のために、ゆとりある期間をもつことが必要であるということにある。すなわち、年々才々というような早急な変化があってはならないということである。このことはハンドボール競技の各団体の間に、より多くの安定性をもたせるために欠くことのできないことであり、またハンドボール競技の諸団体以外の広い大衆に対しても必要なことなのである。

前述のこれらの議決によって、1980年モスクワにおけるオリンピック大会においては、1977年度に出版された競技規則——1978年8月1日より施行——にしたがって競技が行なわれる。そしてさらにこれを補足するものとして1978年8月1日付のIHF/RSK（競技規則とレフェリーの委員会）の註釈書簡、すなわち競技規則の本文および解説についての公式な解釈および補足を加えて競技が行なわれる。

1979年から1980年の間にIHF/RSKおよびIHF/TMK（トレーナーと技術の委員会）の協力のもとに諸委員会で準備討議を重ねて整理した後、1980年モスクワにおいて開催される会議の直後IHF/RATの最終的な議決を経て、新らしい競技規則は1981年8月1日にはじめて発効することになるであろう

【II】 競技種目および根本概念としてのハンドボール。

各競技およびスポーツ種目にはもちろんそれぞれ独自の特徴がある。ハンドボール競技が統一ある発達をするためには、広くすべての世界から受け入れられる根本的な考え方をもっていなければならない。

前回のオリンピック周期まではIHF内部においてもあらゆる世界からの多くの競技に対する考え方を参考として取り入れているのがハンドボール競技の特徴であった。

これらの考え方は、他のスポーツ種目から「盗んだ」ものが多いたとえば、バスケットボールであるとか、あるいはまた部分的にはサッカーやアイスホッケーなどの他のチームプレーの種目からも、ハンドボールの競技規則の発達の過程において影響ある要素がとり入れられたことは明らかである。

——今日われわれは、ハンドボール競技を、ほんとうに一つの競技種目として説明することができるであろうか？ 一つの競技種目であるためには、必ず問題がつきものであるが、たとえばバスケットボール競技の根本的な考え方を適用することは決してできないことは明らかである。ハンドボール競技には身体の接触はつきものである。このことは、ハンドボール競技が、競技としてバスケットボール競技と全く同じような技術的プレイであることを意味するものではない。今日のハンドボール競技の主要な問題は、おそらく一面においては、力とスピードの微妙なバランスであり、また他面においては、技術的な精巧緻密さのうちにみるべきではなかろうか。

競技種目および競技としてのハンドボール競技の根本的な考え方について、思いわずらう必要はない。これが私の固い信念であり、また原則的に今日の競技規則で充分であるというのも私の確信しているところである。

しかしながら、純粋に、まとめ方つまり構成的な点からみて、1981年の新競技規則の刊行という観点から、ある種の変更を徹底的に検討することはわれわれにとって絶対に必要なことであろう。

【III】 われわれは、何をのぞんでいるのか？

ハンドボール競技の根本的な考え方についての討議と関連して、将来の発展についての考え方をまとめておくことはもちろん必要なことである。

われわれは、ハンドボール競技に何をのぞむのであろうか？ われわれにとって競技規則の重要な動因は何であるのか？

私は、ここに次の三つの主要原則を挙げるにとどめよう。

（a） ハンドボール競技規則は、レフェリーが主観的判定を下さなくてもすむようにする必要がある。

（b） 罰の処置は、オフェンスの側にもディフェンスの側にも等価でなければならない。

（c） 競技のすべての段階においてレフェリーの判定は、首尾一貫したものでなければならないアドバアンテージルールの適用についても、また同様でなければならない(13の6および14の8)。さらに補足すれば、競技規則は簡単かつ容易に適用し得るようにまとめられていなければならない。

【IV】 われわれは、現行の競技規則をどのように考えているのか？

過去10年間に競技規則書には絶えず新らしい競技の考え方がとり入れられ、細部の変更が行なわれてきているが、われわれはその都

度全般的な検討審議をせずに変更を行なってきた。

たとえば、競技規則第17条は今日では構造的な判定と実際上の註釈の大きな混合物であり、しかもそれはレフェリーのペアーの共同作業である。

一般的に言ってわれわれの現行の競技規則は、決して一つの原則に基づいて体系的にまとめられたものとはいえないものである。

全く法律のような競技規則の表現の仕方は、あまりにも不明確であり首尾一貫性に欠けている。ことによく問題になるのは、競技規則第3条（プレイヤーの資格と不正交替）は、あまりにも複雑である。

このような現実の原因は、われわれが競技規則の全体性を完全に把握することをしないで、競技規則を個々の部分部分のみを変更したという事実にある。

【V】競技規則をまとめるための編集上の考え方。

われわれは競技規則を新らたに体系的に整理し、組み立てまとめあげることが絶対に必要である。

このことは、実際には次のことを意味するといえよう。すなわちわれわれは将来、競技規則を17条ではなく、およそ20条にしたいということである。さらにわれわれは、個々のいかなるプレイの動因をも、個別的に競技規則の各条項にもりこむことを願っている。

現行の競技規則書には、いく多の純粋な規則的表現を解説、すなわち一般的な方法論的な指示とがまじっている。新らしい競技規則書の条文には構造的問題のみをもりこむようにしなければならない解説は、公式な補足のみにとどめるべきである。（公式な解説に反するプレイ行動が抗議の理由となり得るだろうか!!）

―結論― 1981年8月1日より施行される新らしい競技規則書を発刊するためには、競技規則の編集的なまとめ方を全く改め、書きかえることが必要である。

【VI】競技規則を変更するに当っての討議のための、いくつかの問題点

(A) 体育館と競技場の状態。

<現行競技規則で必要な条件―最低条件として―>

。天井の高さ（20×40mの競技場全面にわたって7m）

。規定されているゴール後方の防球ネット

。競技場周辺の安全地帯

。競技場の床の材質？ コンクリートの床は許されないか？

。競技場の最低の照明は600ルックスではどうか？

(B) プレイヤー

<規則を簡単にする>

。競技への参加資格

。不正交替と競技への参加資格との関係

。競技場に出ることのできるプレイヤーの数。（FP）6＋（GK）1は現行競技規則であるが（FP）5＋（GK）1ではどうか？

<不正交替に対する罰>

。一回目はフリースローと記録だけ、二回目は2分間の退場とフリースロー、三回目・四回目あるいはそれ以上の場合には5分間の退場とフリースローではどうか？

。タイムキーパーは、不正交替の都度笛を吹かなければならないそのために得点のチャンスが明らかに無効になったときには、ボールをもっているチームがペナルティースローを得る。

(C) 競技時間

<公式時計>

。壁にかけた時計がはっきりと見えるようにし、タイムキーパーがオフィシャルテーブルから操作できるようにする。

。レフェリータイムは、競技規則の本文に明確に定議されなければならない。（補足的にレフェリーのために方法論的に指示する）

。レフェリータイムの後では、残り競技時間という表現のみを使わなければならない。

。競技時間中に行なわれた規則違反は、いかなるものでもこれを罰する。―たとえタイムキーパーの笛がすでに吹かれている場合でも？

。競技時間（たとえば前半、後半）終了直前のコーナースローも得点することができるフリースローとペナルティスローと同じように、最後の一投として行なわれるべきであろうか？

(D) 罰（違反）の処置

。失格と追放の原則

主要な考え方――失格は個人的な罰と考える。追放は、その都度個人的な罰と同じくチームの罰と考える。

ただ、競技場の外における失格をどのようにあつかうか？ また競技場外での追放が起こることも考えられる？

3回目の不正交替をしたら自動的に追放する？ あるいは、現行と同じように3回目の退場の後にするか？

。競技規則第17条の16、現行規則と同様に今後も2回目およびそれ以上の退場を2分間で罰するか？（3回目までか？）、あるいは逆に、2回目およびそれ以上のすべての退場については原則として5分間の退場にするか!!

。競技規則第17条の13、失格に対して赤いカードを使用する！

以上は問題提起の導入として考えたいくつかの点である。これらの問題点及び他の点についても慎重な審議を重ねなければならない

限りない未来へ

日本ではじめてステンレスの近代的生産方式を導入、大量生産を可能にし、ステンレスをより身近かなものにしたのは日新製鋼です。
当社は《くらしと鉄を結ぶ月星印》をモットーに、このステンレス鋼をはじめ普通鋼、特殊鋼、表面処理鋼板などを生産し、豊かな未来を目指して歩み続ける総合スチールメーカーです。



総合スチールメーカー
日新製鋼

●デサントハンドボールウェアは日本ナショナルチーム(男女)/日本リーグ(男女)/大学選抜(男女)で採用されています。

勝ちぬく速攻メカ。

凄い奴がでた。その名は「ザ・スタジアム」ハンドボールウェア。「アクションカット」「Jカット」という新機能を搭載。腕の動きをケタ違いに高め、速攻機能を大きく広げた。まさに、ハンドボールのための新兵器。ボールをゴールにたたきこむ、とっておきのメカだ。世界選手権をはじめヒノキ舞台で活躍する、デサントのノウハウが、いま、コートで映える。

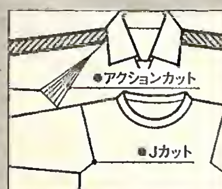


写真:DSS-201 衿付長袖シャツ(肩アクションライン) ¥3,400●スクラムニット●ポリエステル50% 綿50%●S·M·L·O STUDIUMはデサントの登録商標です。

THE STADIUM®

DESCENTE

《本格派》デサント・ハンドボールウェア/ザ・スタジアム



JOC-MS-2-79-1
1980 MOSCOW デサントはモスクワ五輪に協力しています。

発売元/株式会社デサント

海外トピックス

杉山　茂
（NHK運動部）

ユーゴが2度目の訪中

国際レベル、それも、最上位のAクラス到達を目指す中国が、6月の西ドイツにつづき、7月18日から10日間、ユーゴ・男子ナショナルチームを招き、5試合を行った。

ユーゴは、50年3月にも訪中しており(本誌129号)、今回が2度目の訪中。

すでに、ユーゴは、モスクワへの準備に入っており、新エース・クリボカピッチ、デラメトピッチ、ヨボビッチらベストメンバーで遠征、5戦全勝を飾ったが、中国もはっきりと、向上のあとを示し、特に、最終戦の前半は13―13のタイという健闘、11月のアジア選手権に備え、自信をつけるシリーズとなった。

ユーゴ 31（15―12、16―9）21 中国
ユーゴ 34（20―13、14―10）23 天津選抜
ユーゴ 37（19―8、18―9）17 上海選抜
ユーゴ 27（13―12、14―7）19 南京選抜
ユーゴ 29（16―8、13―13）21 中国

ヒポバンク、旋風おこす

9月早々、日本を襲うオーストリア女子のナンバーワン・ヒポバンクHCが、大きなおみやげを手にした。

8月10日から西ドイツのウーラで行われた女子国際クラブトーナメントで、なみいる東欧の強豪を尻目に優勝を飾ったもの。

いわゆる"西側"のクラブが、このトーナメントで優勝したのは13年前のスイフト・ロエルモンド(オランダ)以来というのだからセンセーションを巻きおこした。

ヒポバンクは、予選リーグでディミトロフ・ソフィア(ブルガリア)を5―4、RK・オシエク(ユーゴ)を10―9で破るなどして決勝へ進出、本命視されていたTJ・ゴットバルドフ(チェコ)を9―6(前半5―2)で破り、タイトルを握った。

ヒポバンクは、元ポーランド代表のホリイがパスよし、シュートよしで、つねに自軍を優位に導き、このほか、元ノルウェー代表のアネスタッド、新加入のスペイン代表ピネドら助っ人の活躍が目立った。

なお、3位はソフィアとカルコビア・クラコフ(ポーランド)の間で争われ、ソフィアが14―9で勝った。

スイスの好調つづく

第3回ポーランド男子国際トーナメントが、8月25日からグダンスクで行われ、モスクワ出場を決めて意気あがるスイスが、いぜん好調な試合ぶりを示し、東ドイツに12―20で敗れたものの、地元ポーランドを24―23の大乱戦の末、破ったのをはじめ、ユーゴ、ノルウエーなどをおさえ優勝を飾った。

スイスは、ツーリング、ジェール、ナヒト、フーバーらが健在で、P・ヤニッチ監督は、毎月一、二回ビッグゲームを積んで行く方針という。

最終的には、モスクワまでに三十試合ていどの公式戦が見込まれているが、未確認ながら、この中には、日本との対戦もスケジュールされている。(注・日本協会はそのような話はないという)。

スイスは、モスクワ出場だけで満足せず、あわよくば、メダルをもとの意気ごみとみていい。

来年2月、男子Cグループ

IHF(国際ハンドボール連盟)は、8月の理事会で、来年2月2日から9日まで、ファロー諸島で開く第3回世界選手権男子Cグループの予選リーグ組み分けを次のように発表した。上位4カ国が、81年のBグループに進出。

▽A組　オーストリア、ノルウエー、イタリア、ルクセンブルグ、ファロー諸島、イギリス
▽B組　イスラエル、フランス、ポルトガル、フインランド、ベルギー、

ホルバト、ミルヤク西独へ

ヨーロッパ各国の全国リーグは9月中旬から一斉に熱戦の幕を切って落とすが、有力クラブの戦力補強は、日本のプロ野球なみ。

なかでも、西ドイツの全国リーグ(ブンデス・リガ)十四クラブは、今シーズンも、外国にまで手を伸ばし、TSV・ミルバーショフエンは、ユーゴの名主将ホルバトをついに口説きおとし、TUSネッテルシュタットは流星シュートの異名をとった左腕ミルヤクの獲得に成功した。

両選手とも、ミュンヘン・オリンピックの金メダルメンバーで、73年来日しているが、西ドイツ・リーグには、すでにラザレビッチ(ネッテルシュタット)、ラブルニッチ(グンズブルグ=2部リーグ)が在籍しており、ユーゴのスター選手は、西ドイツ各クラブのかっこうの照準にされた感じだ。

冴えるパスワーク
君の勝利球
MIKASA
ミカサハンドボール


MGH2 ¥4,000(検定球)
MGH3 ¥4,100(検定球)
デザインが感触が新しい!
明星ゴム工業株式会社
広島・東京・大阪・名古屋・福岡

久留米工大、「九州」も快勝

春の学生リーグの最後を飾る第29回九州学生選手権は、7月18日から20日まで、熊本市体育館に男子21、女子4校が参加して、トーナメント法式で行われた。

男子は、6月の西部学生でタイトルを握った久留米工大が、この大会でも、バランスのとれた攻守で決勝進出、福岡大と優勝を争った。

福岡大の出足はよく、前半、巧みに先行したが、後半になると、久留米工大のパワー攻撃に、おされ気味となり、逆転を許した。主導権を握った久留米工大は、終盤も乱れることなく、一気に押し切った。

女子は、福岡同士の決勝となり福岡大が、延長前半、戒能のゴールで勝ちこし、後半さらに1点を加えて、福岡教大を降した。

▽男子1回戦

熊本大 17（7-8、10-6）14 西南学院
大分大 23（14-5、9-8）13 福岡工大
九州工大 22（10-5、12-13）18 長崎総合科学大
熊本工大 21（14-7、7-11）18 西日本工大
鹿児島大 20（10-4、10-4）8 東和

▽同2回戦

熊本大 11（8-3、3-6）9 九州産大
福岡教大 21（10-5、11-6）11 熊本商大
大分大 20（9-5、11-9）14 沖縄国際大
福岡大 25（13-3、12-11）14 宮崎大
久留米工大 37（21-7、16-6）13 九州工大
長崎大 29（12-4、17-6）10 九州共立大
九州大 20（8-4、12-4）8 熊本工大
鹿児島大 棄権 琉球大

▽同準々決勝

福岡教大 14（3-2、11-5）7 熊本大
福岡大 26（10-6、16-7）13 大分大
久留米工大 20（10-8、10-6）14 長崎大
鹿児島大 20（6-2、14-5）7 九州大

▽同準決勝

福岡大 15（7-3、8-7）10 福岡教大
久留米工大 28（16-6、12-12）18 鹿児島大

▽同3位決定戦

福岡教大 27（15-11、12-9）20 鹿児島大

▽同決勝

久留米工大 17（6-7、11-6）13 福岡大

福岡大、延長で優勝

▽女子1回戦（＝準決勝）

福岡教大 15（5-6、10-6）12 九州女短大
福岡大 33（14-2、19-6）8 鹿児島女短大

▽同3位決定戦

九州女短大 24（13-1、11-1）2 鹿児島女短大

▽同決勝

福岡大 19（9-9、7-7……2-1、1-0）17 福岡教大

仙台大が久々の制覇

東北学生春季リーグ戦は、7月1日から3日まで仙台の宮城スポーツセンターに9校が参加して行なわれた。

3組の予選ラウンドのあと、各組勝者による決勝リーグは、仙台大、福島大、6連勝を狙う東北学院の顔合せとなり、激戦をつづけた末、仙台大が、巧者を揃えたチームらしい試合運びで他の2校をおさえ、久々の優勝を飾った。

▽予選ラウンド・A組

弘前大 25—12 山形大
東北学院 31—15 山形大
東北学院 17—16 弘前大

▽同B組

岩手大 27—14 東北工大
仙台大 35—10 東北工大
仙台大 20—15 岩手大

▽同C組

福島大 23—17 宮城教大
東北大 18—8 宮城教大
福島大 18—15 東北大

▽7～9位決定リーグ

宮城教大 27—18 東北工大
宮城教大 15—11 山形大
東北工大 17—13 山形大

【順位】⑦宮城教大⑧東北工大⑨山形大

▽4～6位決定リーグ

東北大 26（14-8、12-7）15 岩手大
弘前大 27（11-7、16-4）11 東北大
弘前大 25（11-7、14-8）15 岩手大

【順位】④弘前大⑤東北大⑥岩手大

▽1～3位決定リーグ

仙台大 14（8-7、6-6）13 福島大
福島大 18（8-4、10-4）8 東北学院
仙台大 18（7-6、11-8）14 東北学院

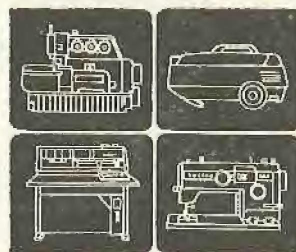
【順位】①仙台大②福島大③東北学院

9日から関西学生リーグ

秋の各地学生リーグは、9日開幕の関西をトップに、次々と熱戦をくりひろげる。現在までに判っている各地1部（男女）の日程は次のとおり。

▽関東 9月26、29日、10月5、6、9、13、16、21、23、27日
▽関西 9月9、16、23、30日、10月7、10、14日
▽東海 10月6、7、10、13、14、20、21、27、28日、11月3、4日
▽北信越 10月6、7日

ミシンから…
エレクトロニクスまで



ジューキ
東京重機工業株式会社
営業本部 東京都新宿区歌舞伎町23
電話03(203)8241(大代表)

工業用ミシン・家庭用ミシン・電子機器
編機・家庭電気製品・縫製附帯機器

興奮再現。

持ち運んで楽しむか

BIG SOUNDS
実用最大出力4.2W
TRK-8030 ¥43,800

クリアでナチュラルな音質の実用最大出力4.2W(2.1W+2.1W、EIAJ/DC)のパワー。12cmウーハー(中低音域用)と3.5cmツイーター(高音域用)採用のスピーカー・システムが再現するリアルなパワーサウンド、心ゆくまでお楽しみください。

- ●FM/AM2バンドラジオつき
- ●(クロム/ノーマル)テープセレクター採用
- ●フルオートストップ
- ●外部スピーカー端子つき(別売り APS-80)使用
- ●ラインイン、ラインアウト端子、マイク端子(R用、L用各1個)つき



ステレオパディスコ8030 TRK-8030 ¥43,800

●電源DC:9V(単1×6) AC:100V 50/60Hz カーアダプター(別売りD-70) ●大きさ 幅41.2×高さ25.6×奥行12(cm) ●重さ 5.0kg(乾電池含む)

システムパディスコ

組んで楽しむか

パディスコ8030はシステムアップできるラジオカセット。専用外部スピーカー(APS-80)の接続により、迫力あるステレオ・サウンドがさらに倍増。また、プレヤー(HT-320)を接続すればレコード音楽も楽しめます。(MM形カートリッジイコライザー MCE-70が必要)



- ●専用外部スピーカー、APS-80 別売り 2本セット¥11,800
- ●レコードプレヤーHT-320 別売り ¥25,800(レコードプレヤーを接続するにはMM形カートリッジイコライザー〈MCE-70〉別売り ¥4,500が必要です)

▲上の写真はステレオパディスコ8030をシステムアップしたものの一例です。

★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
★商品のお問合せ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI CASSETTE RECORDER

HITACHI

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)502-2111
日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)503-2111

★「日立カセットレコーダーの保証書」は必ずお受けとりください。お買い上げの際に、販売店名、ご購入年月日が記入されているかを、お確かめになり、大切に保存してください。

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一七八号
昭和四十六年月七日 第三種郵便物認可
昭 五四年八月二十五日印刷 昭和五四年九月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都 区神南一ー一ー一
電話 代表(467)七〇九七
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価 三百五十円
(年間購読料三千三百円)

株式会社 アシックス



鋭く攻めろ。

独創のソールがスピードとパワーを引き出す

ハンドボール競技におけるプレーヤーの「動き」を徹底的に究明してつくりあげた〈アシックスタイガー®ハンド〉のソールはごらんのとおりツマ先部とカカト部に穴をあけています。
この穴は プレーヤーが力をかけると真空となり フロアにピタッと吸いつくようになっています。
つまりスリップを100%防ぐための設計です。
従って どのような状況のプレーにもダッシュ ストップが完璧で 思いのままに鋭く速く動作できます。
また さまざまな方向へのスタートダッシュ、ストップターンも完全です。
プレーヤーのスピードとテクニックを この吸盤の原理を応用した特殊なソールが 確実に引き出します。

asics TIGER®
HANDBALL SHOES

®ハンドボール

★ハンドボールLE
- 良質表革甲被
- ノンスリップ特殊意匠底
- 代表選手用
- ホワイト×レッド

サイズ 22.5～28.0
標準小売価格 ￥9,000

